

# 取扱説明書

# SANYO

## HDDミュージックプレーヤー

### 品番 **HDP-M3000**

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございました。  
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。  
お読みになったあとは、「いつでも見られる所」に大切に保管してください。  
なお、この取扱説明書は「保証書付」になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

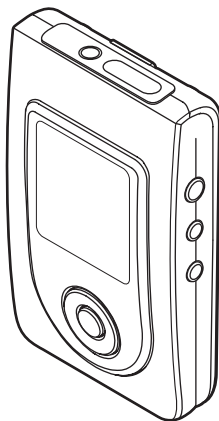
#### 基本操作ガイドについて

すぐにご使用になりたいかたは、基本操作ガイドをご参照ください。  
ただし、この取扱説明書の4ページ「安全上のご注意」と、10ページ「付属品の確認」をはじめに必ずお読みください。

#### お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。  
お問い合わせの時などに便利です。

品 番	HDP-M3000
シリアルNo.	
お買い上げ日	年 月 日
お買い上げの 販売店名	電話(     )     -



リチウムイオン充電電池は  
リサイクルへ

この商品には、リチウムイオン充電電池を使用しています。リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

# もくじ

## はじめに

安全上のご注意 .....	4
必ずお読みください .....	9
登録商標についての注意 .....	9
付属品の確認 .....	10
HDDミュージックプレーヤーとは? .....	11
主な特長 .....	12
各部のなまえ .....	13

## パソコン操作編

動作環境の確認 .....	15
本機および付属ソフトウェアの 動作環境 .....	15
MusicFileMasterをインストールする ..	17
パソコンに接続する .....	20
本機をパソコンに接続する .....	20
本機をパソコンから取り外す .....	22
本機が正常に認識されているか 確認する .....	25
<PC接続をUSB Mass Storageに 設定した場合> .....	25
デジタルミュージックプレーヤーで 音楽を聞くには .....	27
音楽ファイルを作成する(CDリッピング) 本機で再生可能な音楽ファイル (WMAまたはMP3)を作成する .....	28
MusicFileMasterについて .....	33
MusicFileMasterとは .....	33
本機に音楽ファイルを転送する .....	36
MusicFileMasterに音楽ファイルを 取り込む .....	36

## MusicFileMasterを使って

音楽ファイルを本機に転送する .....	40
本機で録音したデータを パソコンに転送する .....	46
MusicFileMasterを使って 音声データをパソコンに転送する .....	46
本機のフォルダ/ファイルについて .....	49
本機データのフォーマットについて ..	50

## 本体操作編

お使いになるまえに .....	51
充電機を充電する .....	51
電池残量表示 .....	53
ステレオヘッドホン(付属品)を 使用する .....	53
ステレオオーディオケーブル(市販品)を 使用する .....	53
操作前準備 .....	54
電源を入/切にする .....	54
誤動作を防止する(ホールド機能) .....	55
メニュー画面表示について .....	55
操作音(ピープ音)の有無を選択する ..	56
音量を調節する .....	56
日時を設定する .....	56
本機の状態とスイッチ/ボタンの 割り当て .....	59
音楽を楽しむ .....	60
音楽ファイル(MP3/WMA形式)を 再生する .....	60
再生モードを選ぶ .....	60
再生する .....	62

お好みの音質で聞くには .....	64	タイマーを使用する .....	105
低音を強調するには .....	67	予約録音の設定 .....	105
リピート再生について .....	68	タイマー録音前の準備 .....	105
ランダム再生について .....	68	タイマー録音の録音対象選択 .....	105
A-Bリピート機能について .....	70	タイマー録音の日時設定 .....	107
FM放送を楽しむ .....	71	タイマー録音の予約選択 .....	108
選局方法について .....	71	各種メニューの設定 .....	110
FMモードに切り換えるには .....	71	共通操作 .....	110
FMステレオ放送の受信について .....	72	MUSICメニュー項目 .....	111
オート(自動)/マニュアル(手動)		FOLDERメニュー項目 .....	111
チューニング .....	74	FMメニュー項目 .....	111
希望局をプリセットする .....	76	SETTINGS(設定)メニュー項目 .....	113
プリセットしたチャンネルを		CLOCKメニュー項目 .....	119
ソートするには .....	78	EXITメニュー項目 .....	119
プリセットした放送局を聞く .....	79		
FM放送を録音する .....	81	<b>その他</b>	
録音前の準備 .....	81	本機が正常に認識されているか	
録音を開始する .....	84	確かめるには .....	120
録音したFM放送を再生する .....	86	デバイスマネージャで正しく	
外部機器の音を録音する .....	89	表示されなかったら? .....	121
録音フォルダについて .....	89	廃棄時の充電電池の処理について .....	122
録音可能時間について .....	89	内蔵の充電電池を取り出すには .....	122
本機を外部機器に接続する .....	90	故障かな?と思うまえに .....	124
録音前の準備 .....	90	本機の電源をリセットする .....	129
録音をはじめる .....	93	お手入れについて .....	129
録音したファイルを再生する .....	95	主な仕様 .....	130
消去する .....	98	保証書とアフターサービス .....	131
ファイルを消去する .....	98	お客さまご相談窓口 .....	132
フォルダ内の全ファイルを		無料修理規定 .....	137
消去する .....	100	索引 .....	138
全データを消去する		製品保証書 .....	140
(フォーマットする) .....	103		

## 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

### 安全のため必ずお守りください。

#### ■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。



#### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



#### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### ■ 絵表示の例

△ 「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。

⊘ 「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

## 本体について



#### 警告

#### ■ 分解・改造しない



分解禁止

本機を分解、改造しないでください。

火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ただし、廃棄時には内蔵の充電電池を取り出してリサイクルにご協力ください。

122ページ「廃棄時の充電電池の処理について」参照

## ■ 運転中は使用しない



禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。

また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

## ■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない



水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。

万一、水や異物が入ったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない



禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでおやめください。

また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

## ■ 極端な温度・湿度条件のもとでは使用しない



禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。

温度が5℃未満、または35℃を超える場所では使用しないでください。

湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

## ■ 置き場所に注意



禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

**注意**

## ■ 電磁波の強い場所では使用しない



禁止

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでの録音はノイズが入りますので避けてください。

## ■ 磁気発生や影響する場所に近づけない



注意

磁気発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

## 電源(ACアダプター/充電機)について



### ■ ACアダプターが傷んだままで使用しない



注意



ACアダプターを抜く

お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### ■ 電源は交流(AC)100V以外使用しない、また付属のACアダプター以外は使わない



禁止

表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。また、本体には付属のACアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると火災の原因となります。

### ■ 中途半端なACアダプターのさし込み状態では使用しない



禁止

- ACアダプターのさし込みかたが不完全な状態で使用すると発熱し、火災の原因となります。
- たこ足配線の場合も、コードやACアダプターが発熱し、火災の原因となります。

### ■ ACアダプターを加工したり、無理に折り曲げたりしない



禁止

ACアダプターを無理な使いかたをするとコードが破損して、火災・感電の原因となりますので、次のようなことはしないでください。

- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げたりして傷をつける。
- 重いものを乗せる。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

### ■ 雷が鳴り出したらACアダプターなどに触れない



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

## ■ ACアダプターを布でおおったりしない



禁止

ACアダプターは布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。また、ほこりやゴミなどを付着したまま使用しないでください。熱がこもりケースが変形したり、湿気を帯びて火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

**注意**

## ■ ACアダプターを抜くときの注意



禁止

- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

## ■ ACアダプターを使用しないときの注意



ACアダプターをご使用にならないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

ACアダプターを抜く

## ■ 本機のデータを消去するときは、電池残量の確認をする



注意

本機のデータを消去するには、電池残量表示を確認してください。消去の途中で電源が切れると、本機のデータは消去できません。

## ■ この製品はリチウムイオン充電電池を内蔵しています



禁止

発熱、発火、破裂などを避けるために、必ず下記の注意事項をお守りください。

- 付属のACアダプターまたは、専用USB接続ケーブル以外で充電しないでください。液漏れや破損の原因になります。充電するときは必ず付属のACアダプターまたは、専用USB接続ケーブルをパソコンに接続して充電してください。
- 火のそばや中に入れてください。また、炎天下に放置しないでください。充電電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。
- 不要になった充電電池を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。リサイクルのためお買い上げの販売店やお近くの電気店にお持ちください。
- 充電電池は消耗品です。充電・放電を繰り返すうちに使用できる時間は短くなります。使用できる時間が最初に比べて約半分になったときは、充電電池の交換時期です。交換についてはお買い上げの販売店にご依頼ください。

- 充電中に本機があたたかくなることがありますが、異常ではありません。ただし、長時間触れていると低温やけどを負うことがありますので充電中の本体には触れないようにしてください。もし、触れられないほど熱くなった場合は、すぐにACアダプターまたは、専用USB接続ケーブルを抜いて、お近くのお客さまご相談窓口にご相談ください。

## 録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったら

すぐに録音をやめて、充電してください。

## 充電電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

## リサイクルのお願い

この商品には、リチウムイオン充電電池を使用しております。リチウムイオン充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み商品の廃棄に際しては、リチウムイオン充電電池を取り外して、リサイクルにご協力ください。

廃棄するための内蔵充電電池の取り外し手順は、122ページをご覧ください。

## 本体(内蔵ハードディスク)について

本体にはハードディスクを内蔵しています。内蔵ハードディスクは衝撃・振動や温度変化に敏感な機器です。使用状況によっては破損によりデータの読み書きができなくなることがあります。本体を一時的なデータの保管場所として使用されることをお勧めします。恒久的な保管場所としては使用しないでください。

## 置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房機器の近く
- 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)
- 不安定な台の上や場所、振動の多いところ
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く

本機を再生中、近くに設置したビデオやオーディオ機器の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はビデオやオーディオ機器から離してください。

## 温度上昇について

本機を充電中(ACアダプター接続)またはパソコン接続で、長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。



## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

## 著作権について

放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

## 必ずお読みください

本機の使用で、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容(データ)の損失を防ぐために

1. 録音前には必ず試し録音をしてください。
2. 録音データを他の機器にバックアップしてください。

本機の使用でおよび落下や衝撃が原因での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

## 登録商標についての注意

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™およびWindows®ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- DigiOnは株式会社デジオンの登録商標です。Powered By DigiOn Portion Copyright ©2001 DigiOn, Inc.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。



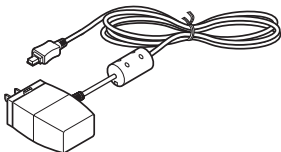
## 付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

- 本体 ..... 1
- 専用USB接続ケーブル ..... 1



- ACアダプター ..... 1



- インナーイヤー型ステレオ  
ヘッドホン(FMアンテナ兼用) ..... 1



- 本書(保証書付) ..... 1
- 基本操作ガイド ..... 1
- CD-ROM(MusicFileMaster) ..... 1

### 付属のソフトウェアについて

- ☐ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。
- ☐ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などにつきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- ☐ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り換えいたします。
- ☐ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- ☐ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

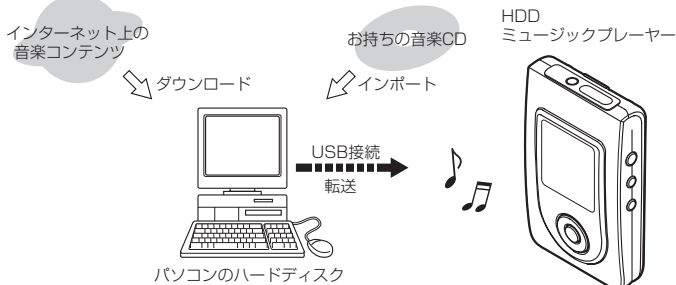
※CD-ROMをオーディオ用プレーヤーでは再生しないでください。

※ 本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

# HDDミュージックプレーヤーとは？

パソコンと接続して、内蔵HDDに記録したデジタル音楽データを手軽に持ち運んで聞ける、ポータブル機器です

- 付属の専用ソフトウェア「**MusicFileMaster**」を使用して、パソコンのハードディスクに保存した音楽データをHDDミュージックプレーヤーに転送し、内蔵HDDに記録・編集して、聞けることができます。
- Microsoft社の「**Windows Media Player**」を使って音楽データの記録、再生が可能です。
- デジタル音楽データをパソコンのハードディスクに取り込むには、以下のような方法があります。
  - インターネットなどを利用した音楽配信サービス(EMD=Electronic Music Distribution)で音楽をダウンロード。  
本機で使えるのは、WMAの音楽配信データのみです。
  - パソコンのCD-ROMドライブからハードディスクに音楽CDをインポート(取り込み)。
    1. Windows Media PlayerでWMA方式に圧縮したファイル
    2. 市販ソフトなどで作成したMP3方式のファイル



## ご注意

- お客さまがインポートしたものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合によりインポートやダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合の補償については、ご容赦ください。

## 主な特長

### ① ダイレクト録音が可能!

- CDやMD等の音楽データをステレオヘッドホン端子・LINE IN端子よりMP3形式でダイレクトに入力することができます。

正式に録音する前に試し録音をしてから録音してください。

※ LINE IN端子への録音時には、外部機器の出力レベル調整が必要となります。

### ② FMチューナー内蔵!

- FMラジオを聞くことができます。また、放送内容を録音することもできます。

### ③ MusicFileMasterで音楽ファイル管理が可能!

- パソコンのハードディスク内のミュージックファイルを取り込んで本機へ転送し、転送した音楽ファイルを管理することができます。

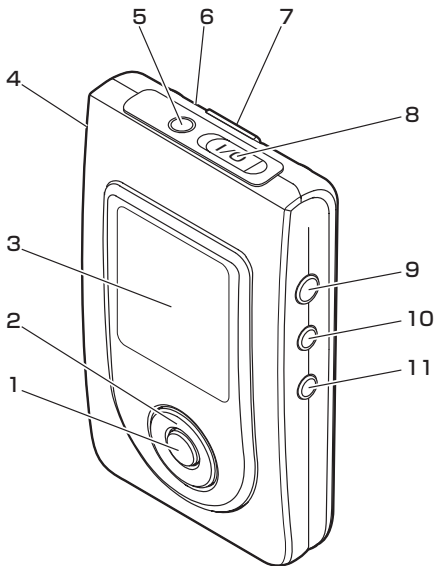
### ④ データストレージとしてパソコンデータの一時保管用としても使用可能!

- 音楽データの保存は勿論ですが、ExcelやWordのデータも一時的に保存することもできます。フロッピーディスクやMO等の代わりとしてお使いください。

## 各部のなまえ

くわしくは、( )内のページをご覧ください。

### 本体

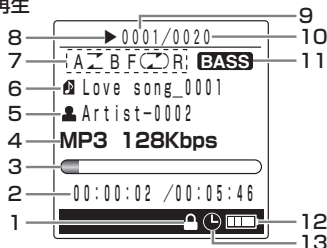


- |  |                                  |
|--|----------------------------------|
| 1. ○(再生/停止、決定、トップメニュー) ボタン(55、56、62ページ)  | 6. リセットスイッチ(129ページ)              |
| 2. ▲、▼、◀、▶ (音量、早送り/早戻し、選択) ボタン(56、57ページ) | 7. ◀HOLDスイッチ(55ページ)              |
| 3. 表示パネル(14ページ)                          | 8. USB端子(20ページ)                  |
| 4. ストラップ取付                               | 9. ▶/■◻ (再生/停止、電源) ボタン(54、62ページ) |
| 5. PHONES LINE IN端子(53、90ページ)            | 10. MENUボタン(55、58ページ)            |
|  | 11. REC/REPEATボタン(68、84ページ)      |

## 表示パネル

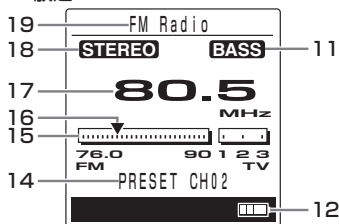
[すべての画面を一度に表示することはできません]

### ■ 再生



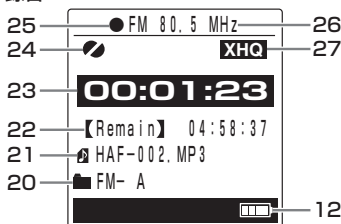
1. ホールド設定
2. 再生経過時間/再生総時間
3. 再生経過表示
4. ファイル種別/ビットレート
5. アーティスト名
6. 曲名(ファイル名)
7. リピート/ランダム  
(アクセス表示... (Z) 点滅)

### ■ FM放送



8. 再生表示
9. ファイル番号
10. ファイル総数
11. BASS
12. 電池残量
13. タイマー
14. FMプリセット番号
15. FM周波数/チャンネル目盛
16. FM周波数/チャンネル位置表示
17. FM周波数/チャンネル
18. ステレオ
19. FMモード表示

### ■ 録音



20. 録音先フォルダ名
21. 録音ファイル名
22. 録音可能時間
23. 録音経過時間
24. 無音ファイル分割
25. 録音表示
26. 録音対象
27. 録音モード(XHQ, HQ, SP, LP)

### ——コントラストの調整——

表示パネルのコントラストが調整できます。

117ページ「各種メニューの設定 - コントラスト」参照。

# 動作環境の確認

USB接続時は自動的に充電状態になります(20、52ページ)。

## 本機および付属ソフトウェアの動作環境

本機をパソコンに接続して音楽データを取り込む場合、またはWindows Media Player をお使いいただくには、以下のようなパソコン環境や動作環境が必要になります。また、本書で説明するソフトウェアを使用するには、ソフトウェアに合った動作環境が必要です。

**Windows Media Playerは付属のCD-ROMには含まれていません。**入手方法は、Microsoft社のホームページをご覧ください。

### ■ Windows搭載パソコン ■

NEC PC98-NX以外のNEC PC98シリーズ・Macintoshなど、Windowsを搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしませんのでご注意ください。

対応機種	IBM PC/AT互換機
CPU	Celeron® 600MHzまたはPentium®Ⅲ 500MHz以上(PentiumⅢ 1GHz以上を推奨)
対応OS(日本語版)	Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition(Me)
ハードディスクの空き容量	100MB以上 (音楽データ扱い量に比例して、空き容量が必要)
RAM	128MB以上(256MB以上を推奨)
USBポート	本製品接続時に1つ必要
CD-ROM	専用ドライバや添付ソフトのインストールに必要 デジタル抽出可能なドライブ
サウンドボード その他	Windows®互換の16-bitをサポート スピーカーまたはヘッドホンが必要
インターネット音楽配信 サービスを利用する場合	56kbpsモデムまたはLAN 環境でのインター ネット接続環境

※ 上記は、2005年10月現在の動作環境です。最新の情報に関しては、Microsoft社にお問い合わせください。

## ご注意

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  - Windows 各OSからのアップグレード環境
  - Windows 95、Windows NT、Windows 98/98SE
  - Windows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用时にはそれらのモードを使用しないでください。
  - ※ サスペンド: CPU、LCD、HDDなどを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPUは停止しているがRAMへの電力供給はされている状態。
- **ご使用環境にWindow Media Player 9.0以上(ME,2000)でお使いください。**
- Web上で購入したWMA方式の音楽データは、DRM10(著作権保護)を使用するためにWindows XPとWindows Media Player10が必要です。
- Windows XP/2000をお使いの場合
  1. 管理者権限(Administrators)のユーザにてご使用ください。
  2. Windows XP/2000で導入された「**ダイナミックディスク**」には動作保証していません。
- 音楽CDから入手した音楽データは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。



# MusicFileMasterをインストールする

ここではお手持ちのパソコンに、MusicFileMasterをインストールする方法を説明します。

※ 付属の専用USB接続ケーブルをパソコンから外しておいてください。

※ 本書ではWindows XPで説明をしています。OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

## 1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

### ご注意

- インストールするときは、Windowsの他のアプリケーションは終了しておいてください。

## 2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる

付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に[InstallShield Wizard]画面が起動します。自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の[Setup.exe]をダブルクリックしてプログラムを起動してください。

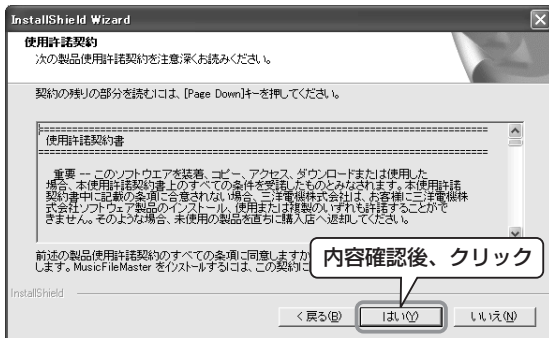
## 3 MusicFileMasterをパソコンにインストールする

1. 画面の指示にしたがい、[次へ]をクリックしてください。



2. 使用許諾契約の内容を確認後、**【はい】**（使用許諾契約に同意する）をクリックします。

使用許諾契約に同意されない場合は、MusicFileMasterはインストールされませんのでご注意ください。



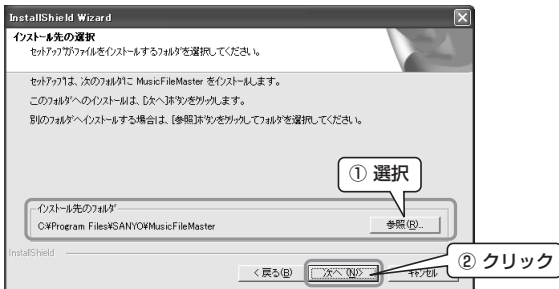
3. ユーザー名を入力・確認後、**【次へ】**をクリックしてください。



4. MusicFileMasterをインストールするフォルダを設定します(ドライブのルート(C:¥、D:¥など)には、インストールしないでください)。

[インストール先のフォルダ]を確認後、[次へ]をクリックしてください。

※ インストール先のフォルダをとくに変更する必要がない場合は、①の選択をせず、②の[次へ]をクリックし、このままの場所にインストールされることを推奨します。



5. インストールが完了すると、以下の画面を表示します。  
まず、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出してください。  
[完了]をクリックしてからパソコンを再起動してください。



これでMusicFileMasterがインストールされました。

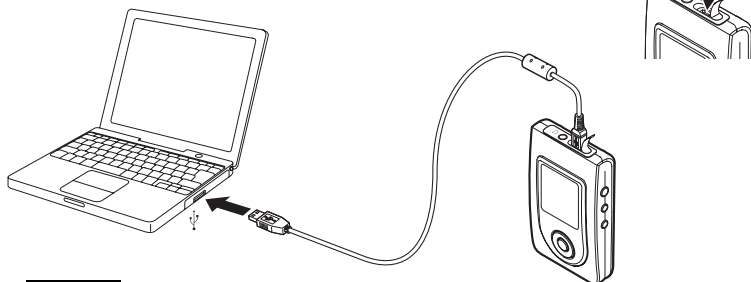
### ご注意

- インストールしたフォルダおよびデスクトップの[マイドキュメント]-[MusicFileMaster]のフォルダはソフトウェア「MusicFileMaster」が使用します。削除、移動、内容の変更などはおこなわないでください。

# パソコンに接続する

## 本機をパソコンに接続する

本機のUSB保護カバーをあけて、専用USB接続ケーブル(付属)を使用してパソコンのUSBポートに接続します。このとき、USBコネクタの接続方向に注意して接続してください。

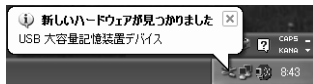


### ご注意

- 本機では以下の2つの接続モードメニューを選択できます(119ページ)。
  - ・ USB Mass Storage(USBマスストレージ)
  - ・ WMP10(DRM10)著作権のある楽曲を転送する以外はUSB Mass Storageに設定してください。
- 接続する前に119ページの「PC接続」の設定を確認してください。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用USB接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンと接続後、通信に失敗すると、本機の表示パネルに“CHARGING”と表示しますので再度接続するか、パソコンを再起動してください。
- パソコンにUSBポートが複数ある場合(前面、背面など)は、USBポートによって正しく認識されないことがあります。その時は、別のポートに本機を接続してください。
- 接続された本機を抜き差しする時は、USBコネクタ部を持って抜き差ししてください。
- 本機のメニュー分類でSETTINGS内にある設定のPC接続で「WMP10(DRM10)」を選択すると、パソコンにインストールしたMusicFileMasterでは本機を認識しなくなります。
- Macintoshパソコンは本機には使えません。

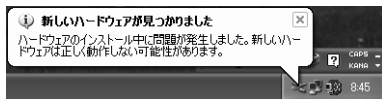
## はじめて本機をパソコンに接続すると

以下のような接続を表すメッセージが複数回表示されます。しばらくしてメッセージが消えるまで本機を取り外さないでください。



(画面はWindows XPです)

本機を接続したときに以下のメッセージを表示した場合は、次ページ「本機をパソコンから取り外す」を参考に本機をパソコンから一度取り外し、再度接続してください。



(画面はWindows XPです)

本機を接続したときにパソコンに何も表示しない場合は、120ページの「本機が正常に認識されているか確かめるには」を確認してください。

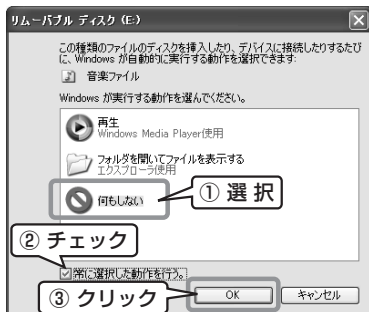
## Windowsが実行する動作を選ぶ

Windows XPのみ接続後、以下の画面を表示します。

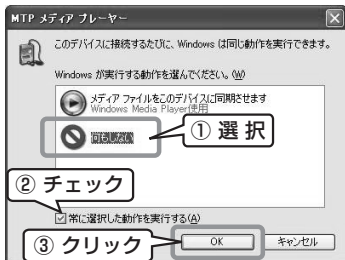
※ お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

**Windows 2000/Meに関しては、この操作はありません。**

USB Mass Storage画面



WMPayer10画面



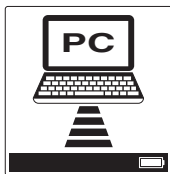
お客さまの使用環境に合わせて設定してください。

本書の例では[何もしない]を選択後、[常に選択した動作を行う。]にチェックし、[OK]をクリックしています。

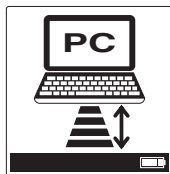
これで、パソコンとの接続は完了です。

パソコンに接続している間、本機は以下のような画面になり、どの操作ボタンを押しても反応しません。

【パソコン接続時の本機表示】



【パソコンとの通信中の本機表示】



※ 図中の ■■■■ 部分がアニメーション表示します。

本機をパソコンから取り外すときは、下記の「本機をパソコンから取り外す」の作業を必ずおこなってください。通信表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

## 本機をパソコンから取り外す

---

本機が通信中の表示になっていないことを確認してから下記の手順にしたがって取り外してください。

OSによって若干画面表示が異なりますが、ご了承ください。

(以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります)

### <接続メニューモードのPC接続がWMPlayer 10(DRM10)の場合>

24ページの項目5の操作で直接本機をパソコンから取り外します。

この時には、通信中では無いことを確認の上、取り外してください。

<接続メニューモードのPC接続がUSB Mass Storageの場合>

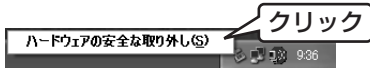
## 1 [タスクトレイ]のアイコンをクリックする

Windows画面右下の[タスクトレイ]のアイコンを右クリックします。



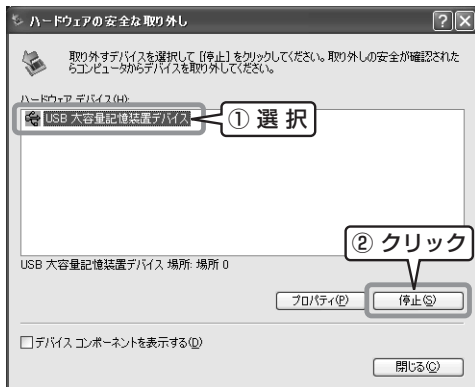
※ アイコンが表示されない場合は、Windowsのヘルプを参照してください。

## 2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする



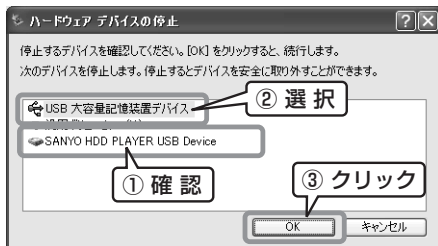
## 3 デバイスを選択し、[停止]をクリックする

[USB大容量記憶装置デバイス]を選択し、[停止]をクリックします。

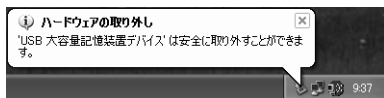


## 4 停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックする

[SANYO HDD PLAYER USB Device]が一覧内に表示されていることを確認し、[USB大容量記憶装置デバイス]を選択して、[OK]をクリックします。



本機が取り外し可能な状態になると、以下の画面を表示します (Windows XPのみ)。[×]をクリックするか、しばらくすると画面が消えます。



## 5 本機をパソコンから取り外す

パソコンのUSBポートから専用USB接続ケーブル(付属)を取り外し、本機のUSB端子からも専用USB接続ケーブル(付属)を取り外します。

### ご注意

- MusicFileMasterを起動して、本機と接続していると22ページからのパソコンから取り外す操作はできません。MusicFileMasterの右上のデバイスの取り外しで外すか、MusicFileMasterを終了してから外してください。



## 本機が正常に認識されているか確認する

### <PC接続をUSB Mass Storageに設定した場合>

#### 1 エクスプローラを起動する

本書と同じエクスプローラ画面でご使用になる場合は、以下の方法でWindowsのエクスプローラを起動してください。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

(説明で使用する画面はWindows XPとなります。)

[スタート]メニューから[マイ コンピュータ]、またはデスクトップ上の[マイ コンピュータ]を右クリックして、表示されるメニュー内の[エクスプローラ]を選択してクリックします。



これで、エクスプローラが起動します。

## 2 リムーバブルディスクのフォルダを表示する

本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラでマイコンピュータ内に、リムーバブルディスクとして表示します。

この[リムーバブルディスク]をクリックすると、内蔵HDDに記録した内容を表示することができます。本機が正常に認識されると以下のように表示します。



各フォルダの説明は、49ページ「本機のフォルダ/ファイルについて」をご覧ください。

接続メニューモードのPC接続をWMPlayer10(DRM10)にした場合、リムーバブルディスクの代わりにSANYO\_HDD\_PLAYERの表示がでます。



### ちょっとこれを！

- 複数のリムーバブルディスクを表示する場合は、本機を接続したときに新たに表示するリムーバブルディスクが本機であることを表します。  
本機をパソコンから一度取り外し、再接続してご確認ください。
- 本機をパソコンに接続したときにリムーバブルディスクを表示しない場合は、120ページ「本機が正常に認識されているか確かめるには」を参照し、確認作業をおこなってください。

# デジタルミュージックプレーヤーで音楽を聞くには

本機で音楽を楽しむには、まずパソコンに音楽データを記録し、それを本機に転送する必要があります。

## 音楽データを記録するには

- 音楽CDから作成する
- インターネットなどの音楽配信サービスを利用する※<sup>1</sup>  
の2通りがあります。

本機で再生できる形式は、次の2方式の音楽データです。

- WMA方式の音楽データ※<sup>2</sup>
- MP3方式の音楽データ

※1：音楽配信サービスをご利用いただくときは、そのサービスでサポートされている音楽データ方式が本機で再生できる方式であることを必ず確認してください。AAC方式やその他の記録方式には対応していません。

※2：Windows Media Player9以上のWMAデータに対応します。  
一部のWMAデータやMP3データは、本機や付属ソフトウェアで再生できない場合があります。

音楽CDから本機で再生可能な音楽データを作成する場合、記録方式(WMAまたはMP3)や使用するソフトウェアによって作成方法が異なりますが、本書ではWindows標準のWindows Media Playerを使用して音楽ファイルを作成する方法を紹介します。音楽ファイルの転送にはMusicFileMasterを使用しますので、事前に17ページ「MusicFileMasterをインストールする」を参考にインストールをおこなってください。

## 本機に音楽を記録するプロセス

1. 本機で再生可能な音楽ファイル(WMAまたはMP3)を作成する → 28ページ
2. MusicFileMasterに音楽ファイルを取り込む → 36ページ
3. MusicFileMasterを使って音楽ファイルを本機に転送する → 40ページ

※ 本機に音楽ファイルを転送後、本機で音楽を再生するには、54ページ以降の「本体操作編」をご覧ください。

# 音楽ファイルを作成する(CDリッピング)

本機で再生可能な音楽ファイル(WMAまたはMP3)を作成する



## ご注意

- お客様が作成したMP3・WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。
- CDから音楽ファイルを取り込み中は、他の操作をしないでください。ノイズ発生の原因となります。

ここでは、Microsoft Windows Media Playerを使って音楽CDの曲をWMA(またはMP3)形式に変換してパソコンに取り込む方法について説明します。

操作の方法について詳しくは、Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

(説明で使用する画面はWindows XP/Windows Media Player 10となります。)

※ 音楽情報は、インターネットで入手可能です。インターネットに接続した環境でご使用されることをおすすめします。

内容によっては音楽情報が取得出来ない場合があります。

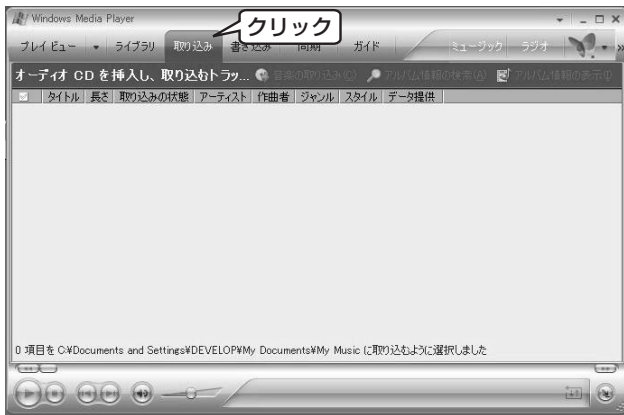
## ● Windows Media Playerの入手方法の詳細は

<http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/>をご覧ください。

## 1 Windows Media Playerを起動する

[スタート]メニューから[すべてのプログラム]－[Windows Media Player]を選択して、Windows Media Playerを起動します。

## 2 [取り込み]をクリックする



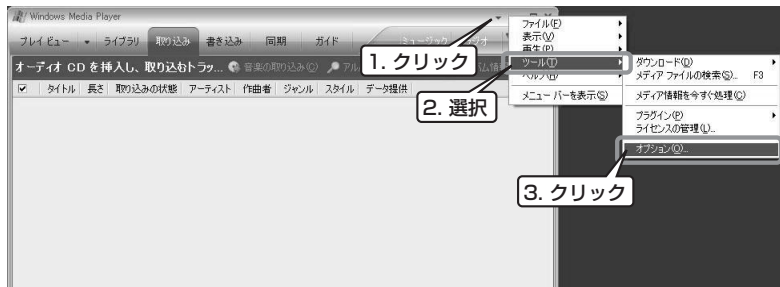
## 3 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する

お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽CDの曲情報を入手して表示します。表示されない場合は[アルバム情報の検索]をクリックしてください。

インターネットに接続していない場合や、CDの種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

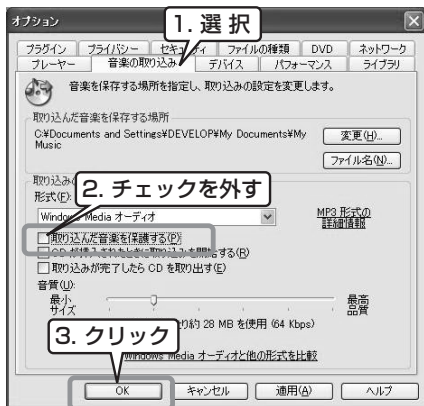
## 4 [ツール]－[オプション]とクリックする

Windows Media Playerの画面右上にある ▼ ボタンをクリックし、表示されたメニューから[ツール]－[オプション]をクリックし、オプション画面を表示させます。



## 5 [音楽の取り込み]タブより、[取り込んだ音楽を保護する]のチェックを外す

チェックを外した後、[OK]をクリックしてください。



## 6 パソコンに取り込みたい曲を選択する

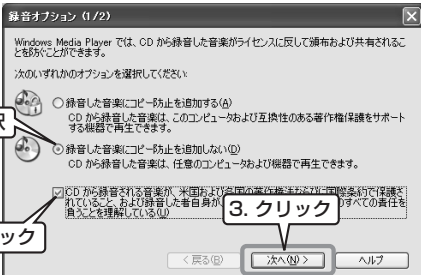
パソコンに取り込みたい曲をチェックして、[音楽の取り込み]をクリックします。



※ 右記のような画面を表示した場合は、画面通りチェックをつけて[完了]をクリックしてください。

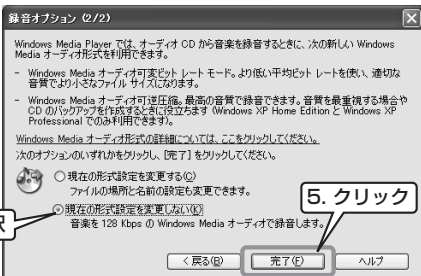
1. 選択

2. チェック

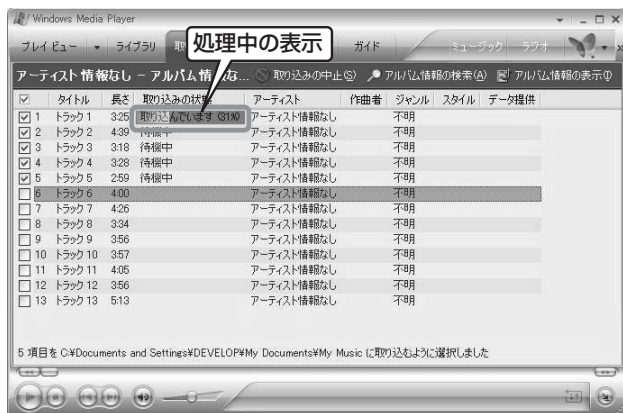


4. 選択

5. クリック



## 7 取り込み(データ変換)が開始される



選択した曲がすべて「ライブラリに取り込み済み」と表示されたら、CDの内容がWMA(またはMP3)形式に変換されてパソコンに取り込まれます。

Windows Media Playerを使用して取り込まれた音楽データは、初期設定では【マイドキュメント】内の【マイミュージック】に保存されています。

パソコンに取り込まれた音楽データを本機に転送するには、36ページの「本機に音楽ファイルを転送する」を参照ください。



# MusicFileMasterについて

## MusicFileMasterとは

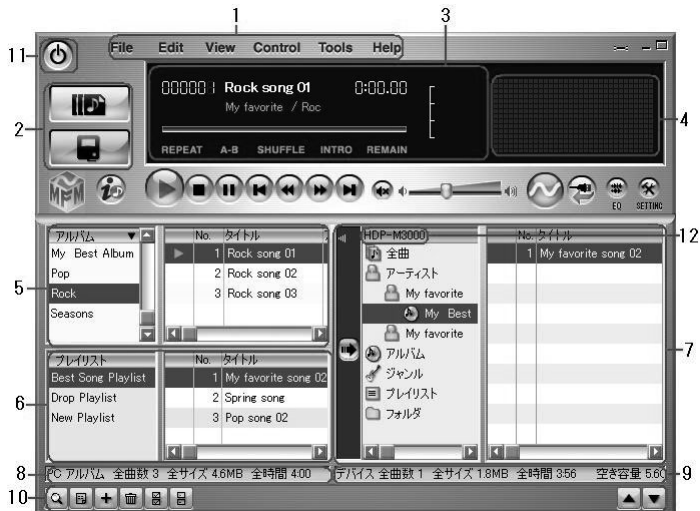
パソコンのハードディスク内のミュージックファイルを自由に選んで、MusicFileMasterに取り込み(インポート)、音楽ファイルを管理(ライブラリ機能)することができます。また、それらの楽曲をポータブルデバイス(本機)へ転送し、ポータブルデバイス(本機)に転送した音楽ファイルを管理(ライブラリ機能)することができるソフトウェアです。

MusicFileMasterでは目的に応じて2つのモードを切り換えて操作します。

1. ライブラリモード: ミュージックファイルの再生、管理、プレイリストの作成をおこなう
  2. ポータブルデバイスモード: ポータブルデバイスへミュージックファイルの転送、管理およびポータブルデバイスのミュージックファイルの再生などをおこなう
- Music File MasterではCDリッピングできません。Windows Media Playerなどでリッピングし、あらかじめ音楽ファイルを作成してください。

## MusicFileMasterウィンドウの各部のなまえ

くわしくは、オンラインヘルプ(35ページ)をご覧ください。



## 1. メニューバー

各操作メニューを表示します。メニュー内容は、モードにより異なります。

## 2. モード切替ボタン

MusicFileMasterのモードを切り替えます。

## 3. ミュージックファイルの情報表示

ミュージックファイルのタイトル、時間などの情報を表示します。

## 4. スペアナ表示

スペクトラムアナライザー表示します。

## 5. ライブラリ

パソコン側のミュージックファイルのリストを表示します。

[ライブラリ]モードで表示されます。表示は、[全曲]、[アーティスト/アルバム]、[アルバム]、[ジャンル]、[フォーマット]別に表示することができます。

## 6. プレイリスト

パソコン側のライブラリのミュージックファイルを自由に組み合わせ作成したプレイリストを表示します。

## 7. ポータブルデバイス(本機)側のライブラリ

ポータブルデバイスの楽曲情報一覧を表示します。

本機側にはライブラリとプレイリストとフォルダがあり、選択できます。

## 8. パソコン側楽曲情報表示

パソコン内で管理しているライブラリの全曲数、全サイズ、全時間を表示します。

## 9. デバイス側楽曲情報表示

ポータブルデバイス内で管理しているライブラリの全曲数、全サイズ、全時間、空き容量を表示します。

## 10. リストコントロールボタン

リストを操作するボタンです。

## 11. 終了ボタン

MusicFileMasterを終了するボタンです。

## 12. デバイス名表示

デバイスの製品名を表示します。

## オンラインヘルプの使いかた

### オンラインヘルプを表示するには

- MusicFileMasterを起動した状態で、[Help]メニューから[目次]を選択して、くわしい説明の項目をご覧ください。



# 本機に音楽ファイルを転送する

## MusicFileMasterに音楽ファイルを取り込む

ここでは、WMA(またはMP3)形式の音楽ファイルをMusicFileMasterのライブラリに取り込む方法について説明します。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

(説明で使用する画面はWindows XPとなります。)

### ご注意

- DRM付き(セキュリティ保護されている)WMAファイルはMusicFileMasterに取り込めません。
  - ① 音楽CDからパソコンへ録音する場合は、Windows Media Playerの設定を変更してください。(30ページ参照)
  - ② DRM付コンテンツを再生する場合は、Windows Media Playerでデバイス(本機)に転送してください。詳しくは下記の弊社Webサイトにアクセスしてください。  
<http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/guide.html>
- MP3・WMA形式のファイルでも、本機で正常に取り込めない、また取り込んで再生できない場合があります。
- お客様が転送したMP3・WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。
- 本機のシステム設定でPC接続を「WMPPlayer10(DRM10)」にするとMusicFileMasterは認識しません。

## 1 MusicFileMasterを起動する

デスクトップに作成された**[MusicFileMaster]**アイコンをダブルクリックして、MusicFileMasterを起動します。

### ご注意

- 起動するときは、Windowsの他のアプリケーションを終了させておくことを推奨します。

## 2 音楽ファイルの取り込み方法を選択する

[File]メニューから[追加]を選択し、[ファイル]または[フォルダ]を選択します。



※ファイル..... 選択した音楽ファイルだけ取り込みます。

フォルダ..... 選択したフォルダ内にある全ての音楽ファイルを取り込みます。

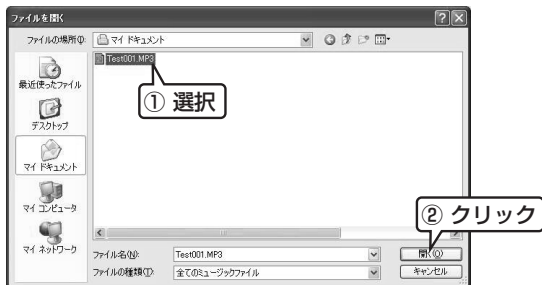


ちょっとこれを！

- Windows Media Playerを使用して取り込んだ音楽ファイルは、初期設定では[マイドキュメント]内の[マイミュージック]に保存されています。
- Windows Media Playerで取り込んだ音楽ファイルの保存先は、Windows Media Playerを起動して[ツール]－[オプション]－[音楽の取り込み]－[取り込んだ音楽を保存する場所]で確認できます。

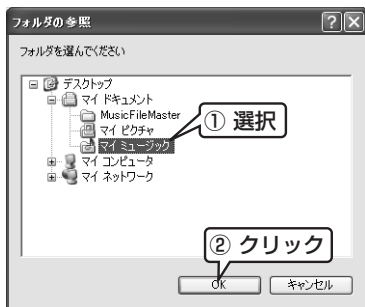
## 2-1 「ファイル」を選択した場合

取り込みたい音楽ファイルがあるフォルダを開き、その中の音楽ファイルを選択して【開く】をクリックします。



## 2-2 「フォルダ」を選択した場合

取り込みたい音楽ファイルがあるフォルダを選び、【OK】をクリックします。



フォルダ (例: マイコンピュータ) および、サブフォルダの全てのMP3・WMA形式ファイルが取り込めます。

### 3 取り込みを開始する

<取り込み中(コピー中)の表示>



ライブラリウィンドウ(1)に音楽ファイルが表示されれば、取り込み完了です。



## MusicFileMasterを使って音楽ファイルを本機に転送する



ここでは、MusicFileMasterに取り込んだWMA(またはMP3)形式の音楽ファイルを本機に転送する方法について説明します。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

(説明で使用する画面はWindows XPとなります。)

### ご注意

- MusicFileMasterで転送した音楽ファイルは、本機のMusicフォルダに転送されます。
- 本機では、MUSICフォルダの下2階層までにあるMP3やWMAが再生できます。
- Windows Media Playerやエクスプローラを使って音楽データを転送した場合は、本機での再生モードの選択がフォルダ別検索のみとなります。全曲、アーティスト、アルバムやジャンルごとに音楽ファイルを再生する場合には、本機を接続した状態でMusicFileMasterのツールメニューの楽曲管理ファイルの再作成をおこなってください。

## 1 本機をパソコンのUSBポートに接続する

20ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

## 2 MusicFileMasterを起動する

デスクトップに作成された**[MusicFileMaster]**アイコンをダブルクリックして、MusicFileMasterを起動します。

### ご注意

- 起動するときは、Windowsの他のアプリケーションを終了させておくことを推奨します。
- 転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。



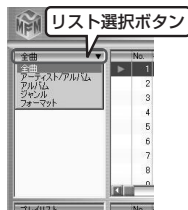
### 3 転送する音楽ファイルと転送先を選択する

ライブラリ内の転送したい音楽ファイルを選択①し、本機側の全曲②を選択します。ここでは、本機側のライブラリに転送します。



ちょっとこれを！

- 画面③番の「すべてを選択」ボタンをクリックすると、選択中のライブラリ内の音楽ファイルをすべて選択できます。また、画面④の「すべて解除」ボタンをクリックすると、選択中のライブラリ内の選択中ファイルを解除できます。
- ライブラリのリスト選択ボタンをクリックすると、[全曲]、[アーティスト/アルバム]、[アルバム]、[ジャンル]、[フォーマット]ごとに音楽ファイルを表示できます。



## 4 音楽ファイルを転送する

転送ボタンをクリックして音楽ファイルを転送します。



(1)の欄に転送された曲が入っていれば、転送完了です。

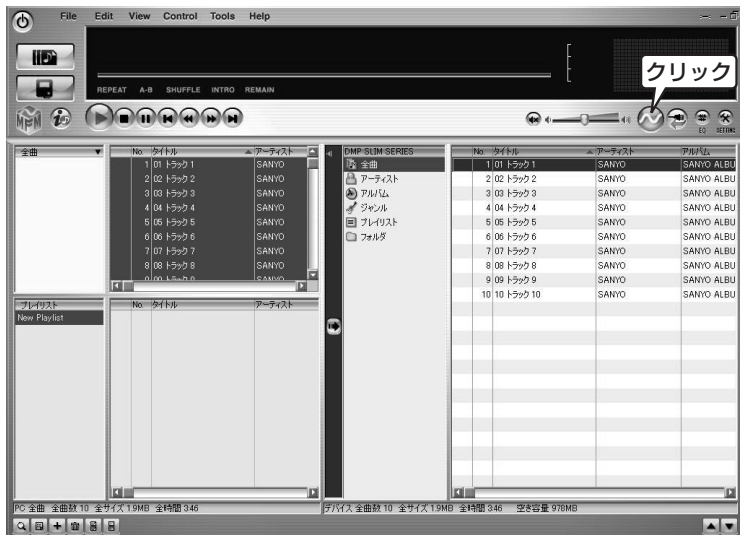
### ご注意

- 転送中に本機をパソコンから取り外さないでください。データが壊れてしまうことがあり故障の原因にもなります。

## 5 楽曲管理ファイルを作成する

楽曲管理ファイルの作成ボタンをクリックします。

楽曲管理ファイルを作成すると、本機でアーティストやアルバム、ジャンルごとに音楽ファイルの検索・再生ができるようになります。



## 6 画面左上の[⏏]をクリックしてMusicFileMaster終了する

## 7 本機をパソコンから取り外す

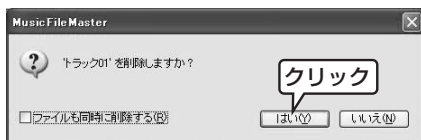
22ページ「本機をパソコンから取り外す」参照。

## ● パソコン側のライブラリから曲を削除したい場合

- 1 ライブラリウィンドウで、削除したい曲を選択し、画面左下の「ゴミ箱」アイコンをクリックします。



- 2 以下の画面が表示されるので、「はい」をクリックします。



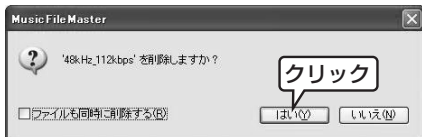
※ ここで、「ファイルも同時に削除する」にチェックを入れると、ライブラリ上からだけでなく、パソコンのハードディスクからもファイルが削除されます。

## ● 本機に転送した音楽ファイルを削除したい場合

- 1 ポータブルデバイス側のライブラリウィンドウから削除したい曲を選択し、画面左下の「ゴミ箱」アイコンをクリックします。



2. 以下の画面が表示されるので、「はい」をクリックします。



- ※ ここで、「ファイルも同時に削除する」にチェックを入れると、ライブラリ上からだけでなく、本機のハードディスクからもファイルが削除されます。

# 本機で録音したデータをパソコンに転送する

## MusicFileMasterを使って音声データをパソコンに転送する



ここでは、MusicFileMasterを使用して本機で録音した音声ファイルをパソコンに保存する方法について説明します。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

(説明で使用する画面はWindows XPとなります。)

### 1 本機をパソコンのUSBポートに接続する

20ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

### 2 MusicFileMasterを起動する

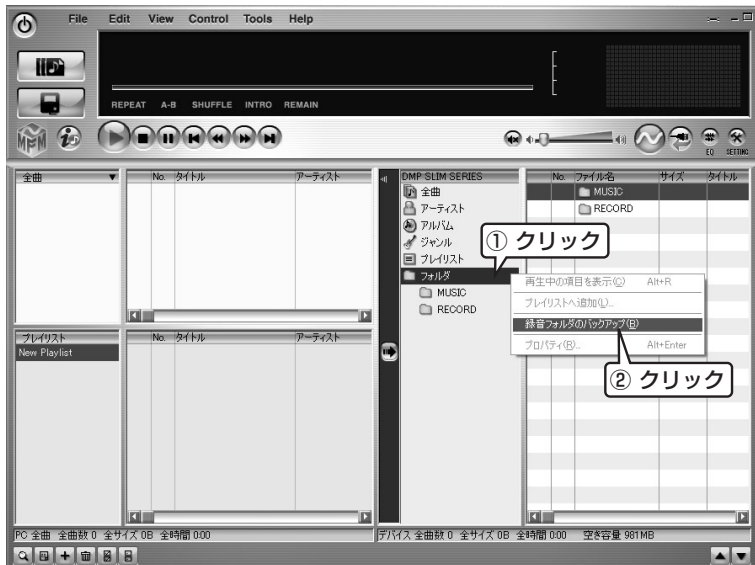
デスクトップに作成された[MusicFileMaster]アイコンをダブルクリックして、MusicFileMasterを起動します。

#### ご注意

- 起動するときは、Windowsの他のアプリケーションを終了させておくことを推奨します。

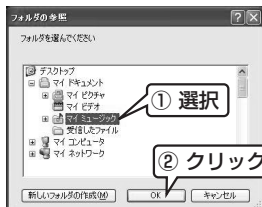
### 3 録音フォルダのバックアップを選択する

本機側のフォルダを右クリックし、「録音フォルダのバックアップ」を選択してクリックします。



## 4 保存場所を指定する

「フォルダの参照」が開くので、保存したい場所を指定して[OK]をクリックします。



## 5 MusicFileMasterを終了する

MusicFileMasterの左上の ☺ ボタンをクリックします。

## 6 本機をパソコンから取り外す

22ページ「本機をパソコンから取り外す」参照。

### ご注意

- MusicFileMasterを起動して、本機と接続していると22ページからのパソコンから取り外す操作はできません。MusicFileMasterの右上のデバイスの取り外しボタンで外すか、MusicFileMasterを終了してから取り外してください。

MusicFileMasterでは、本書に掲載している内容以外にも以下のような操作がおこなえます。詳しくはオンラインヘルプ(35ページ「オンラインヘルプの使いかた」参照)をご覧ください。

- ・ 音楽ファイルのファイル情報(アーティスト名やアルバム名など)を変更する
- ・ 聴きたい曲を選び、好きな順番で再生できるプレイリストを作成する
- ・ イコライザを切り換えて、好みの音質で音楽を再生する

なお、弊社Webサイトにて本商品のよくあるご質問や便利に使用するための活用ガイドを掲載しています。デスクトップ上の「SANYO DIPLY MUSICユーザーサポート」アイコンをダブルクリックするか、またはInternet Explorerにてアドレスボックスに“<http://www.sanyo-audio.com/support/>”を入力いただくとアクセスできますので、お問い合わせの際にはご参照ください。



## 本機のフォルダ／ファイルについて

MusicFileMasterで本機に転送するファイルは全てMUSICフォルダに保存されます。

- ・ 保護されている音楽→WMPPlayer10(DRM10)使用
- ・ 保護されていない音楽やExcel,Wordデータ→USB Strageモードで転送してください。

### [MUSICフォルダ]

パソコンから転送するファイルを保存するフォルダです。

- 転送するファイル名はどのようなものでも構いませんが、MP3形式、またはWMA形式のファイルに限ります。
- MUSICフォルダ内にMP3形式、またはWMA形式のファイルを追加した場合に関しては再生順が変わる場合があります。  
また、MUSICフォルダの1つ下に作成したフォルダも同様に再生順が変わる場合があります。
- MUSICフォルダの下にお好みのフォルダを作成して、アルバムごとや歌手ごとにファイルを入れることができます。  
MUSICフォルダの下に、2階層までのサブフォルダに含まれるファイルを再生することができます。
- MusicFileMasterでMUSICフォルダの下に作成される“S1stAAI.sdb”、“S1stAAr.sdb”、“S1stAGe.sdb”、“S1stAI.sdb”、“S1stAr.sdb”、“S1stASo.sdb”、“S1stGe.sdb”のデータベースを削除しないでください。デバイスのMUSICから楽曲ファイルを再生できなくなります。もし削除した場合は、デバイスをパソコンに接続し、MusicFileMasterのメニュー[Tools]-[デバイスの楽曲管理ファイルを再作成]でデータベースを再度作成し直してください。

### [RECORD - FMフォルダ]

本機にてFM放送を録音したファイルを保存するフォルダです。

パソコンに保存したFMフォルダのデータを、再度本機のMUSICフォルダに転送して再生できます。

- 内蔵HDDの**A**フォルダに録音したファイルは、“HAF\_XXX(ファイル番号).MP3”というファイル名で、FMフォルダ内の**A**フォルダに保存されます。

- B・C・Dフォルダについてもそれぞれ同様です。
- A・B・C・Dフォルダはそれぞれ最大512ファイルまで保存できます。

### [RECORD - AUDIOフォルダ]

本機にてLINE INより楽曲を録音したファイルを保存するフォルダです。  
パソコンに保存したAUDIOフォルダのデータを、再度本機のMUSICフォルダに転送して再生できます。

- 内蔵HDDのAフォルダにLINE INより楽曲を録音したファイルは、“HAO\_XXX (ファイル番号).MP3”というファイル名で、AUDIOフォルダ内のAフォルダに保存されます。
- B・C・Dフォルダについてもそれぞれ同様です。
- A・B・C・Dフォルダはそれぞれ最大512ファイルまで保存できます。

### [DATAフォルダ]

リムーバブルディスクとして、(EXCEL・WORDなどの)データファイルを保存するフォルダです。

本機ではDATAフォルダに音声や曲ファイルを入れて再生することはできません。

### [INFSYS.SPR]

このファイルを削除すると、MusicFileMasterで認識されなくなります。ファイルを削除してしまった場合は、一度本機の接続を取り外し、電源を入れた後、再度接続してください。

## 本機データのフォーマットについて

---

フォーマットをおこなう場合、必ず本機でおこなうようにしてください。  
パソコンでフォーマットをおこなうと、録音が正常にできない場合があります。  
フォーマットするには103ページの「**全データを消去する(フォーマットする)**」をご覧ください。  
パソコンでフォーマットをしてしまった場合は、本機でフォーマットをやり直してください。

# お使いになるまえに

## 充電電池を充電する

本機を初めてご使用になる場合は、本体内蔵の充電電池を必ず充電してください。また、充電電池が消耗した場合も同様に充電してください。

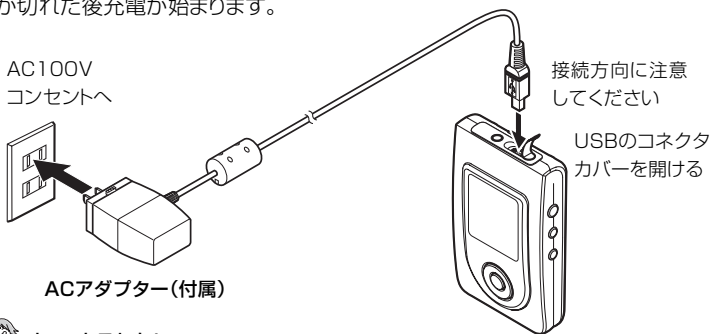
充電するにはACアダプターを使用する方法と、パソコンにつないでUSB充電する方法の二つがあります。

ACアダプターでの充電時間は約3時間、パソコンからのUSB充電は約4時間です。充電回数については約300回を目安にしてください。


### ACアダプターを使用して充電する場合

本機の電源が切の状態ではACアダプターのコネクタ部分を本機のUSB端子部に、ACアダプター本体をAC電源に接続します。

- 充電を開始します。
- 本機の電源が入っている状態でACアダプターを接続した場合は、自動的に電源が切れた後充電が始まります。



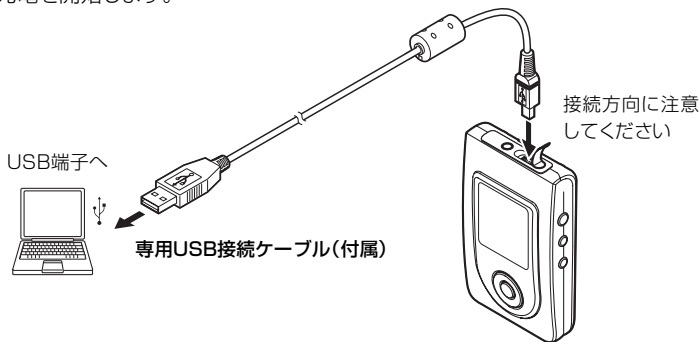
ちょっとこれを！

- ACアダプターで充電中に本機の電源を入れた場合は、表示パネル右下に「」を表示します。
- ACアダプターをつないだままで本機を使用すると、電池を消耗せずに操作することができます。
- 充電中に▶/■の(電源)ボタンを長押しすると、電源がONになり、通常の操作ができるようになります。

## パソコンを使用してUSB充電する場合

付属の専用USB接続ケーブルの小さい方のUSBコネクタ部分を本機のUSB端子部に、もう一方のUSBコネクタ部分をパソコンのUSB端子に接続します。

- 充電を開始します。



ちょっとこれを！

- パソコンに接続中は本機を操作することができません。
- 以下の状態のときはUSB充電しない場合があります。
  1. パソコンが休止状態のモードになったとき
  2. パソコンを再起動したとき

## 充電表示について

ACアダプターで充電中は表示パネルに“CHARGING”を表示し、電池マークが以下のように順番に切り換わります。充電が終了すると、表示パネルの“FULL”を表示します。



## ご注意

- 充電中に充電池があたたかくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電時間は充電池の使用状態により異なります。
- データ転送中でもUSB充電はできますが、使用状況によっては充電完了後の再生時間が短くなることがあります。
- はじめて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電時間が長くなったり、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か再生/充電を繰り返すと通常の状態に戻ります。
- 電池の容量が少ないのに充電が終了してしまう場合、充電池の寿命が考えられます。
- 充電池の不良と考えられる場合は、販売店にご相談ください。
- 充電は周囲の温度が5～35℃の環境でおこなってください。


## 電池残量表示

電池残量は、表示パネルの電池残量表示で確認してください。



電池残量表示が  を点灯したら

充電池を充電してください。

“電池切れです”表示後 表示パネル表示消灯  電池切れ

## ステレオヘッドホン(付属品)を使用する

PHONES/LINE IN端子に差し込んでください。ヘッドホンはFM受信時のアンテナも兼ねています。

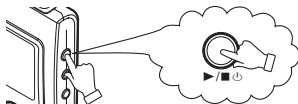
## ステレオオーディオケーブル(市販品)を使用する

PHONES/LINE IN端子に外部機器と接続したオーディオケーブルを接続して、外部機器から音楽などを録音できます。ミニプラグ付のオーディオケーブルをご用意ください。

# 操作前準備

## 電源を入/切にする

▶/■⏻ (電源) ボタンを2秒以上押す



表示パネルのバックライトが点灯し、“HELLO”を表示して電源がオンになります。電源を切る前に選択していた動作モード(ファンクション)を表示します。(レジューム機能)

- バックライトの表示時間を選択できます。初期設定では「5秒」に設定されています。117ページ「各種メニューの設定 - バックライト」参照。

再度 ▶/■⏻ (電源) ボタンを2秒以上押すと、“SEE YOU”を表示し、電源がオフになります。

### オートパワーオフ機能

- 電源が入った状態で再生や録音をせずに、一定時間放置しておくと、自動的に電源が切れるように設定できます(FM放送受信時は、オートパワーオフ機能は働きません)。また、録音一時停止中に、一定時間放置しておくと、録音していたファイルを作成した後、電源が切れます。初期設定はオフに設定されています。116ページ「各種メニューの設定 - オートパワーオフ」参照。

### レジューム機能

電源を切る前に選択していた動作モードや周波数、またファイルの再生を停止した位置を記憶しています。

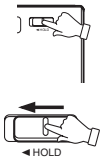




ただし、音量については、音量レベルが25以上に設定されていたときは、電源を入ると自動的に25に設定されます。

次に電源を入れたときは同じ周波数やファイル位置で停止していますので、同じ放送局やファイルの続きから再生を開始することができます。

- 動作モードを切り換えたり、パソコンに接続するとレジューム機能は解除され、同じ放送局やファイルの続きから再生を開始することはできません。

## 誤動作を防止する(ホールド機能)

録音または再生中などに誤ってボタンを押し、動作を中断することを防ぎます。

	操作とはたらき	表示パネル
<p><b>1</b></p> 	<p><b>HOLDスイッチを矢印の方向に切り換える</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● “HOLD設定です”と“”を表示し、ホールド機能がはたらきます。</li><li>● ホールド機能中に、操作ボタンを押すと、“HOLD設定です”を表示し、各ボタンは機能しません。</li></ul>	
<p><b>2</b></p> 	<p><b>HOLDスイッチを矢印の反対方向に切り換える</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● “HOLDを解除しました”を表示し、ホールド機能を解除します。</li></ul>	

## メニュー画面表示について

本機でメニュー画面を表示するには、○(トップメニュー:13ページ参照)ボタンを2秒以上押します。

### ■ レジューム表示について

メニュー設定後、MENUボタンを押して通常画面に戻った場合、最後に設定したメニュー項目を記憶しています。次にMENUボタンを押したときは前回設定したメニュー項目を表示しますので、同じメニュー項目で設定を簡単に変更することができます。

- 電源を切るまたは、○(トップメニュー)ボタンを2秒以上押して通常画面に戻った場合は、レジューム表示は解除され、前回設定したメニュー項目を表示することはできません。

## 操作音(ピープ音)の有無を選択する

ボタンを押したときの操作音の有無を選択できます。

初期設定では操作音が「オン」になっています。

操作音が出るのはボタン操作時です。ボタン操作以外では操作音は鳴りません。

116ページ「各種メニューの設定 - 操作音」参照。

## 音量を調節する

● ▲ または ▼ ボタンを押すと、下の画面を表示し、音量が調節できます。




● 音量レベル00～30の範囲で調節できます。

## 日時を設定する

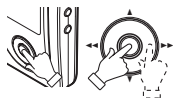
録音を開始する前に、日時の設定・確認をおこなってください。

操作とはたらき		表示パネル
<b>1</b> 	<b>停止または再生中に○ボタンを2秒以上押す</b> ● トップメニュー選択画面を表示します。	
<b>2</b> 	<b>◀◀ または ▶▶ ボタンを押して「SETTINGS」を選択する</b>	



	操作とはたらき	表示パネル
<b>3</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定メニュー選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>4</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して「時間設定」を選択する</p>	
<b>5</b> 	<p>○または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 時間設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとトップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>6</b> 	<p>「現時刻設定」が選択されていることを確認して○または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現時刻設定画面を表示します (西暦表示が反転しています)。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと時間設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>7</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して西暦を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ▲ ボタンを押すと日時が進み、▼ ボタンを押すと日時が戻ります。</li> </ul>	

## 8



## ○または▶▶ ボタンを押す

- 西暦が決定し、次の月表示が反転します。
- 同様の操作で、月、日、時、分を設定します。最後に「分」を設定した後、○または▶▶ ボタン(設定の確定)を押してください。

日時が設定され、時間設定メニュー選択画面に戻ります。

- ◀◀または▶▶ ボタンを押して設定したい項目(西暦、月、日、時、分)を選択できます。ただし、西暦選択中に◀◀ ボタン(設定から抜け出す)を押す、または分選択中に▶▶ ボタンを押すと時間設定メニュー選択画面に戻ります。



## 9



## MENUボタンを押す

- もとの停止または再生表示に戻ります。
- 日時設定を途中で中止するには、設定中にMENUボタンを押します。



ちょっとこれを！

- 長時間使用していると時刻表示がずれることがありますので、その時は正しい時刻に設定をしておってください。
- 本機の時刻表示を12hまたは24h表示に切り換えできます。  
118ページ「各種メニューの設定 - 12H/24H表示」参照。
- 時計画面を表示させたり、表示させるデザイン(デジタル1/デジタル2)を切り換えできます。  
118、119ページ「各種メニューの設定 - 時計表示設定、時計表示」参照。

## 本機の状態とスイッチ/ボタンの割り当て

押すボタン	操作	停止中	再生中	録音中
	単押し	再生開始	再生停止	録音停止
	長押し	電源オフ	電源オフ	電源オフ
	単押し	メニュー表示※1	メニュー表示※1	—
	長押し	ファイル一覧表示	ファイル一覧表示	—
	単押し	録音開始	ABリピート	録音一時停止
	長押し	リピートモード切り換え	リピートモード切り換え	—
	単押し	音量設定	音量設定	—
	長押し	音量設定	音量設定	—
	単押し	ファイル選択	ファイル送り・戻し	—
	長押し	ファイル選択	早送り・早戻し	—
	単押し	再生開始	再生停止	—
	長押し	トップメニュー表示	トップメニュー表示	—

押すボタン	操作	FM放送受信中	FM放送録音中
	単押し	プレイモードの再生画面	録音停止
	長押し	電源オフ	電源オフ
	単押し	メニュー表示※1	—
	長押し	プリセット/マニュアル切り換え	—
	単押し	録音開始	録音一時停止
	長押し	オートプリセットメニュー	—
	単押し	音量設定	音量設定
	長押し	音量設定	音量設定
	単押し	プリセット選局/マニュアルチューニング切り換え	—
	長押し	オートスキャン	—
	単押し	プリセット登録/消去ボタン※2	—
	長押し	トップメニュー表示	—

※1: メニュー設定後、**MENU**ボタンを押して通常画面に戻った場合は、前回設定したメニュー項目を表示します(55ページ)。

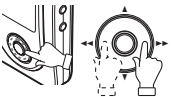


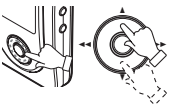
※2: プリセット表示中は消去選択、プリセットしていない時は登録の選択が可能です。

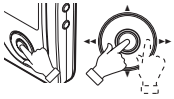

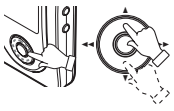


# 音楽を楽しむ

## 音楽ファイル(MP3/WMA形式)を再生する

再生モードを選択することで、全曲、アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト、フォルダごとに音楽ファイルを検索・再生できます。

### 1 再生モードを選ぶ

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>停止または再生中に○ボタンを2秒以上押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップメニュー選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<p>◀◀ または ▶▶ ボタンを押して「MUSIC」または「FOLDER」を選択する</p>	
<b>3</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生モードまたはフォルダの選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>4</b> 	<p>▲ または ▼ ボタンを押して検索したい再生モード(全曲、アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト)またはフォルダ(MUSIC)を選択する</p>	

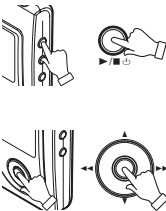
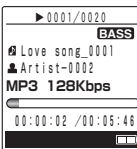
	操作とはたらき	表示パネル
<p><b>5</b></p> 	<p>例として「アルバム」で○または▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択した再生モードの対象項目またはサブフォルダを表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと手順 4にもどります。</li> <li>● 全曲、アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリストはMusicFileMasterで転送した時のみ再生できます。</li> </ul>	
<p><b>6</b></p> 	<p>▲ または ▼ ボタンを押して再生したい項目またはサブフォルダを選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ▲ または ▼ ボタンを押し続けると、スクロール表示の速度は順次変わります。</li> <li>● 長い名称やフォルダ名は、スクロール表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと手順 4にもどります。</li> </ul>	
<p><b>7</b></p> 	<p>○または▶▶ ボタンを押す</p> <p>曲名またはファイル名が選択されている状態にしておきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示された項目をさらに細かく検索する場合は、手順 6、7を繰り返します。</li> <li>● 選択を途中で中止するには、選択中にMENUボタンを押します。</li> </ul>	




ちょっとこれを！

- アーティスト名、アルバム名は、曲によって表示されない場合があります。
- 再生モード選択で「全曲」を選択した場合は、全ての曲(ファイル)をさしています(アーティスト、アルバム、ジャンル別にある全てのファイル)。
- あまりに多くの曲を入ると動作の低下をまねきますので、目安として最大3000曲程度までをおすすめします。

## 2 再生する

	操作とはたらき	表示パネル
<div data-bbox="97 189 129 231">1</div> 	<p><b>音楽またはファイルの選択(表示)状態で▶/■ ◀ または○ボタンを押す</b></p> <p>表示パネルに“▶”を表示し、再生を開始します。</p> <p>再生中はファイル番号/ファイル総数と再生経過グラフ、再生経過時間/再生総時間、曲名またはファイル名、アーティスト名、ファイル形式、ビットレート、リピート/ランダムの状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長い曲名やファイル名は、スクロール表示します。</li> </ul>	

### ご注意

- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります(ファイルのアクセス中は“”が点滅表示します)。また、ファイル数が極端に多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。
- MP3・WMAファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なることがあります。
- MP3・WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- 音楽ファイルによっては曲名が登録されていても、曲名が表示されない場合があります。

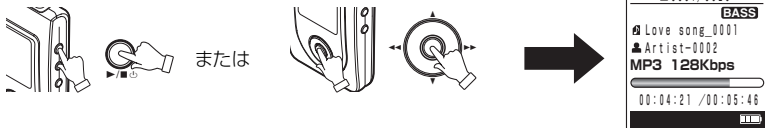


### ちょっとこれを!

- 再生モード選択で全曲を選択した場合は、全ての曲(ファイル)をさしています(アーティスト、アルバム、ジャンル別にある全てのファイル)。
- あまりに多くの曲を入れると動作の低下をまねきます。

## 再生を途中で停止するには

再生中に ▶/■ ◁ または ○ ボタンを押す



表示パネルに“■”を表示し、再生が停止します。

● 長い曲名やファイル名は、スクロール表示します。

再度、▶/■ ◁ または ○ ボタンを押すと、続きから再生を再開します。

## 再生を早送り・早戻しするには

再生中に、◀◀ または ▶▶ ボタンを1秒以上押し続ける



表示パネルに“◀◀”または“▶▶”を表示し、現在再生しているファイルを早送り・早戻しします。

### ■ 早送り(▶▶)

ファイルの最後まで早送りすると、早送りを解除して次のファイルの先頭から再生を始めます。

最終ファイルの早送り再生終了後、リピートオフの時は停止状態になり、1曲・全曲・ランダムリピート選択時は早送りを解除して次のファイルの先頭から再生を始めます。

### ■ 早戻し(◀◀)

ファイルの先頭まで早戻しすると、早戻しを解除してファイルの先頭から再生を始めます。

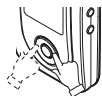
早送り・早戻し再生中、ファイルの音声は出力されます。

◀◀または▶▶ ボタンから指をはなすと早送り・早戻し再生を解除し、通常再生に戻ります。

● ◀◀または▶▶ ボタン押し続けると、早送り・早戻し再生の速度は順次変わります。

## ファイル送り・戻しするには

再生または停止中に、◀◀ または ▶▶ ボタンを押す



または



連続でファイル送り・戻しをするには、停止中に◀◀または▶▶ ボタンを押し続けます。

停止中にファイルを選択した場合は、▶/■ ◻ または○ボタンを押して再生を開始してください。

- 再生中に◀◀ ボタンを押すと、再生中のファイルの頭に戻り再生します。続けて押すと、前のファイルに移動します。ただし、ランダム再生中は前のファイルに移動しません。

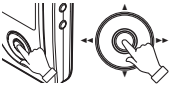
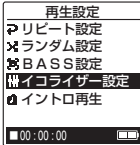

## お好みの音質で聞くには

音楽ファイルを再生するときや録音したFM放送を再生するとき再生する内容に合わせて、お好みの音質で聞くことができます。

操作とはたらき		表示パネル
<b>1</b> 	停止または再生中に○ボタンを2秒以上押す ● トップメニュー選択画面を表示します。	
<b>2</b> 	◀◀ または ▶▶ ボタンを押して「SETTINGS」を選択する	

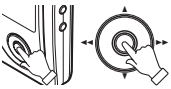
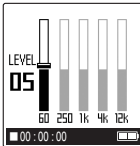
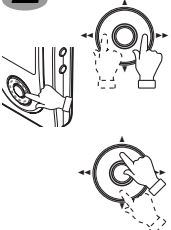
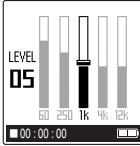


	操作とはたらき	表示パネル
<b>3</b> 	<b>○ボタンを押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定メニュー選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>4</b> 	<b>「再生設定」が選択されていることを確認して○または▶▶ ボタンを押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとトップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>5</b> 	<b>▲ または ▼ ボタンを押して「イコライザー設定」を選択する</b>	
<b>6</b> 	<b>○または▶▶ ボタンを押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● イコライザー設定の選択画面を表示します(現在の設定が反転しています)。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと再生設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>7</b> 	<b>▲ または ▼ ボタンを押して希望の音質(ノーマル、ポップ、ロック、ジャズ、ユーザー設定)を選択する</b> <p>「ノーマル」..... 低音域から高音域までフラットな音質にする</p> <p>「ポップ」..... 高音域を強調する</p> <p>「ロック」..... 低音域を強調する</p> <p>「ジャズ」..... 中音域を強調する</p> <p>「ユーザー設定」.. 5つの周波数帯ごとに希望の特性にする(次ページ)</p>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>8</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 音質が確定し、再生設定メニュー(またはイコライザー設定)選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>9</b> 	<p>MENUボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● もとの停止または再生表示に戻ります。</li> <li>● 設定を途中で中止するには、設定中にMENUボタンを押します。</li> </ul>	

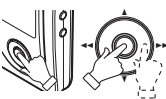






### お好みの特性に設定する(ユーザー設定)

5つの周波数帯ごとにレベルを9段階に設定してお好みの周波数特性に設定します。

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>65ページ手順 <b>7</b> で、▲ または ▼ ボタンを押して「ユーザー設定」を選択し、○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ユーザー設定画面を表示します(現在の設定を表示しています)。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<p>▲、▼、◀◀、▶▶ ボタンを使ってお好みの特性に設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ◀◀ または ▶▶ ボタンを押すと、各周波数帯(BAND)を選択できます。</li> <li>● ▲ または ▼ ボタンを押すと、各周波数帯ごとのレベルを設定できます。</li> <li>● 再生中に設定すると、再生音を聞きながら設定できます。</li> </ul> <p>66ページ手順 <b>8</b> に戻ります</p>	

## 低音を強調するには

音楽ファイルを再生するときや録音したFM放送を再生するとき、低音を強調して聞くことができます。

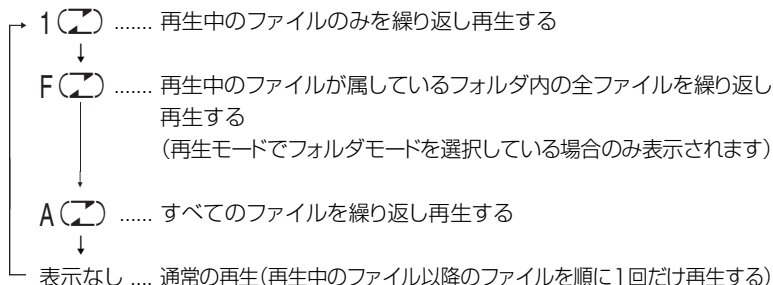
	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>65ページ手順 <b>5</b> で、▲ または ▼ ボタンを押して「BASS設定」を選択する</p>	
<b>2</b> 	<p>○ または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● BASS設定の選択画面を表示します（現在の設定が反転しています）。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと再生設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>3</b> 	<p>▲ または ▼ ボタンを押して「オン」を選択する</p>	
<b>4</b> 	<p>○ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● BASS設定が確定し、再生設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>5</b> 	<p>MENUボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● もとの停止または再生表示に戻ります。</li> <li>● 設定を途中で中止するには、設定中にMENUボタンを押します。</li> </ul>	

## リピート再生について

音楽ファイルを再生するときや録音したFM放送を再生するとき、1つのファイルまたはすべてのファイルを繰り返し再生することができます。

### 再生または停止中に、REC/REPEATボタンを2秒以上押す

ボタンを押すたびに以下の順に切り換わります。

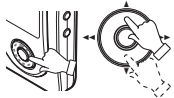



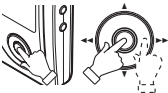

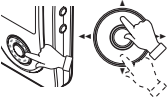




ちょっとこれを！

- 112ページ「各種メニューの設定 - リピート設定」から設定することもできます。
- FOLDER再生時にオールリピート設定とランダム再生を同時に設定はできません。

## ランダム再生について


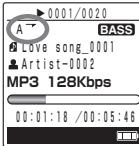
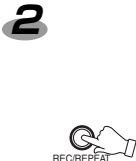
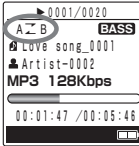
音楽ファイルを再生するときや録音したFM放送を再生するとき、現在選択中のフォルダまたはアーティスト、アルバム、ジャンル内のすべてのファイルを順不同に繰り返し再生することができます。

操作とはたらき		表示パネル
<b>1</b> 		<div>再生設定</div> <div>🔁 リピート設定</div> <div><b>🔍 ランダム設定</b></div> <div>🔊 BASS設定</div> <div>📶 イコライザー設定</div> <div>🎧 イントロ再生</div> <div>■ 00:00:00 </div>

	操作とはたらき	表示パネル
<p><b>2</b></p> 	<p>○または▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ランダム設定の選択画面を表示します(現在の設定が反転しています)。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと再生設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<p><b>3</b></p> 	<p>▲または▼ ボタンを押して「オン」を選択する</p>	
<p><b>4</b></p> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ランダム設定が確定し、再生設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<p><b>5</b></p> 	<p>MENUボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● もとの停止または再生表示に戻ります。</li> <li>● 設定を途中で中止するには、設定中にMENUボタンを押します。</li> </ul>	

## A-Bリピート機能について

A-Bリピート機能を使って、ファイル中の特定の区間を繰り返し再生することができます。

	操作とはたらき	表示パネル
<div data-bbox="80 243 270 391">  </div>	<p>再生中に、A-Bリピート再生したい場所の開始地点でREC/REPEATボタンを1回押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● A 地点 (リピート開始地点) が決定され、“A” を表示します。</li> </ul>	
<div data-bbox="80 481 234 662">  </div>	<p>次に終了地点でREC/REPEATボタンをもう1度押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● B 地点 (リピート終了地点) が決定され、“A B” が表示されます。これで特定の区間 (A 地点 - B 地点) を繰り返し再生します。</li> <li>● A-Bリピート再生中に、REC/REPEATボタンを押すと、A-Bリピートが解除され通常の再生に戻ります。</li> </ul>	

### で注意

- A地点やB地点の設定後に早送り・早戻しをしたり、再生を停止すると、A-Bリピート設定が解除されます。
- A-Bリピート設定中に、A地点決定後、そのまま再生中のファイルの最後まで到達した場合、A-Bリピートはキャンセルされます。

# FM放送を楽しむ

本機はFMチューナーを内蔵しており、FM放送を聞いたり録音することができます。

**FM放送を楽しむにはFMモードに切り換えてください。(71ページ)**

- テレビの1～3チャンネルの音声も受信できます。
- ヘッドホンがアンテナの役割をしますので、ヘッドホン端子にヘッドホンを差し込んでください。差し込まなければ放送は受信できません。

## ご注意

- テレビに色ズレが生じたり、本機にテレビの雑音が入る場合は、本機とテレビを離してご使用ください。
- 室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でテレビ音声を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

## 選局方法について

本機では2つの方法で選局ができます。



### アップ/ダウン選局：

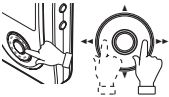

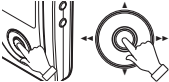

受信したい放送局の周波数に自動(オートスキャン)または、手動(マニュアル)で合わせます。

### プリセット選局(ユーザープリセット)：

ご自分でプリセット(プログラム)した放送局を選局するときに使います。自動(オート)または、手動(マニュアル)で20局までプリセットできます。

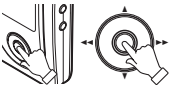


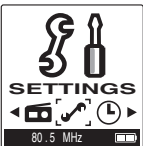
## FMモードに切り換えるには

操作とはたらき		表示パネル
<b>1</b> 	停止状態で○ボタンを2秒以上押す	
	● トップメニュー選択画面を表示します。	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>2</b> 	<p>◀◀ または ▶▶ ボタンを押して「FM」を選択する</p>	
<b>3</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● FM放送の受信画面を表示します。</li> </ul>	




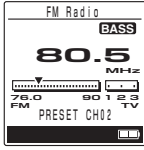
## FMステレオ放送の受信について

ステレオモードとモノラルモードを切り換えることができます。  
ステレオモード時にFMステレオ放送を受信すると、自動的にステレオになります。

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>FMモード選択中に○ボタンを2秒以上押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップメニュー選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<p>◀◀ または ▶▶ ボタンを押して「SETTINGS」を選択する</p>	



	操作とはたらき	表示パネル
<b>3</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとトップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>4</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して「FM設定」を選択する</p>	
<b>5</b> 	<p>○または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● FM設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>6</b> 	<p>「ステレオ/モノラル」が選択されていることを確認して○または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステレオ/モノラルの選択画面を表示します(現在の設定が反転しています)。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとFM設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>7</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して「ステレオ」または「モノラル」を選択する</p>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>8</b> 	<b>○ボタンを押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステレオ/モノラルが確定し、FM設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>9</b> 	<b>MENUボタンを押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● FMモード選択中は、もとの受信状態に戻ります。</li> <li>● 設定を途中で中止するには、設定中にMENUボタンを押します。</li> </ul>	





#### ちょっとこれを！

- 受信状態が悪いとステレオにならないことがあります。この場合、モノラルモード(「モノラル」選択)にすると、モノラル音声になり聞きやすくなります。
- モノラルモードに切り換えると、再び切り換ええない限りモノラルモードのままになります。
- FM文字放送には対応していません。

## オート(自動)/マニュアル(手動)チューニング

受信したい放送局の周波数にオート(自動)または マニュアル(手動)で合わせます。

準備:FMモードを選択します(71ページ)。

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<b>FMモード選択中に、MENUボタンを2秒以上押してアップ/ダウン選局モードを選ぶ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示パネルに“PRESET”が表示されていない状態がアップ/ダウン選局モードです。</li> </ul>	

## ◀◀または▶▶ ボタンを押して希望の放送を受信する

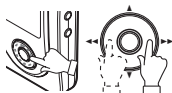
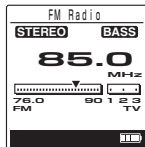
### オート(自動)スキャンチューニング

◀◀ または ▶▶ ボタンを1秒以上押し、周波数が変わり始めたら指を離します。周波数が自動的に進み、放送局を受信すると自動停止します。

- ボタンを押し続けていると停止しません。
- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動停止しないことがあります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信して自動停止することがありますが、故障ではありません。

### マニュアル(手動)チューニング

◀◀または▶▶ ボタンを短くポンポンと繰り返し押します。周波数は76.0 ~ 90.0 MHz(0.1 MHzステップ)と、テレビの1~3チャンネル(TV1、2、3 CH)を受信します。



プリセット選局に戻るには、MENUボタンを2秒以上押して“PRESET”を表示させる



ちょっとこれを！




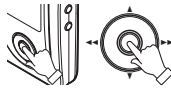
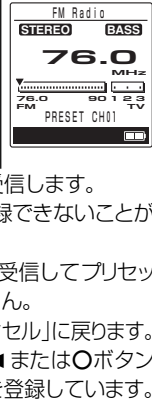
- 選局時、周波数は正しく合わせてください。周波数は新聞の番組表などに記載されています。
- テレビ音声はステレオ、音声多重にはなりません。
- 本機のテレビ受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
- 受信周波数は、国内向けと海外向けに選択できます。  
工場出荷時は日本向けのため国内周波数に設定しています。そのため、周波数は76.0~90.0MHzとテレビの1~3チャンネルを受信します。  
海外などに出張や旅行される時には海外周波数に切り替えることができます。  
○ボタンを2秒以上押してSETTINGSを表示させます。  
次に、設定でシステム設定を選択し、言語(Language)で「英語」を選択しますと受信周波数が87.50~108.00(0.05 MHzステップ)が受信できるようになります。

## 希望局をプリセットする

ご希望の放送局をプリセットしておく、◀◀または▶▶ ボタンを使って、簡単に選局できます。

受信できる放送局をオート(自動)または、マニュアル(手動)で20局までプリセットすることができます。

### オート(自動)プリセットする

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p><b>FMモード選択中に、REC/REPEATボタンを2秒以上押す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● オートプリセットの選択画面を表示します(現在の設定が反転しています)。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<p><b>▲または▼ボタンを押して「実行」を選択する</b></p>	
<b>3</b> 	<p><b>○ボタンを押す</b></p> <p>周波数の下限から自動的に進み、受信した放送局を自動的にプリセットします。受信できる放送局が20局登録されるか、バンド周波数の上限に達するとオートプリセットは終了し、プリセット番号「01」に登録された放送局を受信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動登録できないことがあります。</li> <li>● 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信してプリセットすることがありますが、故障ではありません。</li> <li>● 動作終了後、オートプリセットの設定は「キャンセル」に戻ります。</li> <li>● オートプリセットを途中で中止するには、◀◀または○ボタンを押します。その周波数地点までの放送局を登録しています。</li> </ul>	

## ご注意

オートプリセットを実行すると、前のプリセット内容は消えます。


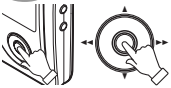



ちょっとこれを！

- 115ページ「各種メニューの設定 - オートプリセット」から設定することもできます。

## マニュアル(手動)プリセットする

	操作とはたらき	表示パネル
1	74ページ「オート(自動)/マニュアル(手動)チューニング」の操作でプリセットしたい放送局を受信する	
2	○ボタンを押す ● プリセット番号の選択画面を表示し、プリセット番号が点滅表示します。	
3	▲または▼ボタンを押して登録するプリセット番号を選択する	
4	○ボタンを押す ● プリセット登録の確認画面を表示します。	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>5</b> 	<p>▲または▼ボタンを押して「実行」を選択する</p>	
<b>6</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プリセットが確定し、選んだプリセット番号でプリセットモードになります。</li> </ul>	
<b>7</b>	<p>他局をプリセットする場合は、手順 <b>1</b> ~ <b>6</b> を繰り返す</p>	


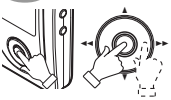







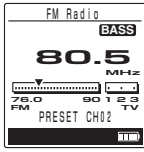
ちょっとこれを！

- すでにプリセットされている放送局を変更する場合は、一度消去(80ページ)してから登録をやり直してください。



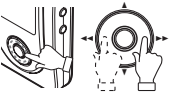

## プリセットしたチャンネルをソートするには

プリセットしたチャンネルを周波数の低い方から順に登録し直すことができます。

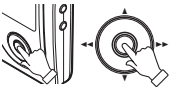



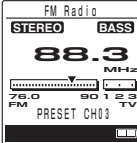
	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>73ページ手順 <b>6</b> で、▲または▼ボタンを押して「プリセットソート」を選択する</p>	
<b>2</b> 	<p>○または▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プリセットソートの選択画面を表示します(現在の設定が反転しています)。</li> <li>◀◀ ボタンを押すとFM設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>3</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して「実行」を選択する</p>	
<b>4</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● プリセットソートが確定し、F M 設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>5</b> 	<p>MENUボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● もとの停止または再生表示に戻ります。</li> <li>● 設定を途中で中止するには、設定中に MENUボタンを押します。</li> </ul>	

## プリセットした放送局を聞く

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>FMモード選択中に、MENUボタンを2秒以上押してプリセット選局モードを選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示パネルに“PRESET”を表示させます。</li> <li>● プリセット局が登録されていない場合は、プリセット選局モードに切り換わりません。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<p>◀◀または ▶▶ ボタンを押してプリセット番号を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ◀◀または ▶▶ ボタンを短くポンポンと繰り返し押します。</li> <li>● ◀◀または ▶▶ ボタンを押すたびに次または前のプリセット局を受信します。</li> </ul>	

## プリセット局を消去するには

	操作とはたらき	表示パネル
<p><b>1</b></p> 	<p>消去したいプリセット局を選択中(79ページ)に、○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● プリセット消去の確認画面を表示します。</li> </ul>	
<p><b>2</b></p> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して「実行」を選択する</p>	
<p><b>3</b></p> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択中のプリセット局が消去され、次のプリセット局を受信します。</li> <li>● 消去したプリセット番号のうしろのプリセット番号は繰り上がります。</li> </ul>	



### ちょっとこれを！

- 登録しているプリセット番号を周波数の低い方から順にプリセット番号を登録し直すことができます。
- 78ページ「プリセットしたチャンネルをソートするには」参照。



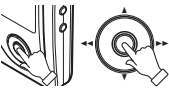






## FM放送を録音する

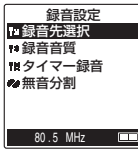



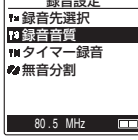

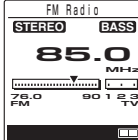
FM放送を録音することができます。録音したファイルはすべてRECORDフォルダ内のFMフォルダに保存します。また、ファイル名は録音順に自動的に付けられて保存されます。ファイル名については49ページをご覧ください。

- 録音可能時間については、89ページをご覧ください。
- 録音時もヘッドホンは抜かないでください。アンテナの役目をしています。

### 1 録音前の準備

#### 録音音質を選択する

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>○ボタンを2秒以上押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップメニュー選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<p>◀◀または▶▶ ボタンを押して「SETTINGS」を選択する</p>	
<b>3</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとトップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>4</b> 	<p>▲または▼ ボタンを押して「録音設定」を選択する</p> <p>※ イコライザー設定は再生系の設定のため反映されません。</p>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>5</b> 	<p>○または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul> <p>※ FM放送録音時にも録音音質(LP、SP、HQ、XHQB)は反映されます。</p>	
<b>6</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して「録音音質」を選択する</p>	
<b>7</b> 	<p>○または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音音質選択画面を表示します(現在選択されている録音音質が反転しています)。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと録音設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>8</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して希望の録音音質(XHQB、HQ、SP、LP)を選択する</p>	
<b>9</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音音質が確定し、録音設定メニュー選択画面に戻ります。</li> <li>● 続けて録音するフォルダを選択する場合は、83ページ手順 1へ進みます。</li> </ul>	
<b>10</b> 	<p>MENUボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● FMモード選択中は、もとの受信状態に戻ります。</li> <li>● 設定を途中で中止するには、設定中にMENUボタンを押します。</li> </ul>	

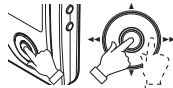

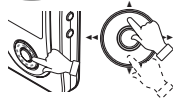

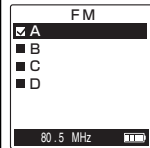

## ご注意

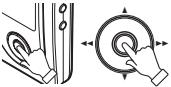



各録音モードの最大録音時間とは別に、**本機で録音できる最大ファイル数は1フォルダにつき512ファイルとなります。**録音可能時間が残っていても、513以上のファイルを録音することはできません。

513ファイル目を録音しようとする、“ファイル数が一杯です 録音できません”と表示されます。空いているフォルダに切り換えるか、不要なファイルを消去してください。

98ページ「ファイルを消去する」参照。

## 録音するフォルダを選択する

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<b>82ページ手順 6</b> で、「録音先選択」が選択されていることを確認して○または <b>▶▶ ボタンを押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音先フォルダ選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと録音設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<b>▲ または ▼ ボタンを押して「FM」を選択する</b>	
<b>3</b> 	<b>○ボタンを押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● FMフォルダの選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと録音先フォルダ選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>4</b> 	<b>▲ または ▼ ボタンを押して録音先のフォルダ(A・B・C・D)を選択する</b>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>5</b> 	<b>○ボタンを押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択したフォルダに設定し、録音先フォルダ選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>6</b> 	<b>MENUボタンを押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● FMモード選択中は、もとの受信状態に戻ります。</li> <li>● 設定を途中で中止するには、設定中にMENUボタンを押します。</li> </ul>	

## 2 録音を開始する

録音したい放送局を受信中にREC/REPEATボタンを押す



表示パネルに“● FM”を表示し、録音を開始します。

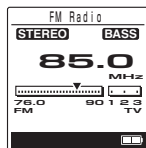
現在録音している周波数とファイル名、録音経過時間、録音残時間、録音先フォルダを表示します。

### ご注意

- FM放送では無音分割(114ページ)を「オン」に設定しても、録音中の放送の無音部分を検出して、自動的にファイルを分割することはできません。
- 録音中に録音レベルは変更できません。録音中に音量が変わるのは受信音量です。

## 録音を停止するには

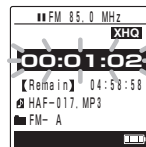
録音中に▶/■⏏ ボタンを押す



録音を停止して、もとの受信表示に戻ります。

## 録音を一時停止するには

録音中にREC/REPEATボタンを押す



表示パネルに“FM”を表示し、録音経過時間が点滅します。

再度REC/REPEATボタンを押すと、録音を再開します。

スリープを設定していると、録音していたファイルを作成した後、設定している時間で電源が切れます。

## ご注意

- FM放送を録音中はヘッドホン(アンテナ兼用)を抜かないでください。
- FM録音中、音質が著しく低下した場合は、録音モードを変更してみてください。  
81ページ「録音音質を選択する」参照。
- FM録音中は、選局できません。


## 録音したFM放送を再生する

本機で録音したFM放送を再生します。

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>○ボタンを2秒以上押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップメニュー選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<p>◀◀ または ▶▶ ボタンを押して 「FOLDER」を選択する</p>	
<b>3</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● フォルダの選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとトップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>4</b> 	<p>▲ または ▼ ボタンを押して「RECORD」 を選択する</p>	
<b>5</b> 	<p>○ または ▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● RECORDフォルダの選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとフォルダ選択画面に戻ります。</li> </ul>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>6</b> 	<p>▲ または ▼ ボタンを押して「FM」を選択する</p>	
<b>7</b> 	<p>○ または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● FMフォルダの選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとRECORDフォルダ選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>8</b> 	<p>▲ または ▼ ボタンを押して再生先のフォルダ(A・B・C・D)を選択する</p>	
<b>9</b> 	<p>○ または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択したフォルダ内のファイル選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとFMフォルダ選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>10</b> 	<p>▲ または ▼ ボタンを押して再生したいファイルを選択する</p>	
<b>11</b> 	<p>►/■ ◁ または ○ ボタンを押す</p> <p>表示パネルに“ ► ”を表示し、再生を開始します。</p> <p>再生中はファイル番号/ファイル総数と再生経過グラフ、再生経過時間/再生総時間、ファイル名、フォルダ名、ファイル形式、ビットレート、リピート/ランダムの状態を表示します。</p>	

## ご注意

- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります（ファイルのアクセス中は「」が点滅表示します）。また、ファイル数が極端に多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。
- ファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なることがあります。



## ちょっとこれを！

- 再生する内容に合わせて、好みの音質で聞くことができます。64ページ「好みの音質で聞くには」参照。
- 低音を強調して聞くことができます。67ページ「低音を強調するには」参照。
- 1つのファイルまたはすべてのファイルを繰り返し再生することができます。また、すべてのファイルをランダムに繰り返し再生することもできます。68ページ「リピート再生について/ランダム再生について」参照。

## 再生を途中で停止するには

再生中に **▶/■ ◻ または ○ ボタン**を押す

- 詳しくは、63ページ「再生を途中で停止するには」をご覧ください。

## 再生を早送り・早戻しするには

再生中に、**◀◀ または ▶▶ ボタン**を1秒以上押し続ける

- 詳しくは、63ページ「再生を早送り・早戻しするには」をご覧ください。

## ファイル送り・戻しするには

再生または停止中に、**◀◀ または ▶▶ ボタン**を押す

- 詳しくは、64ページ「ファイル送り・戻しするには」をご覧ください。



# 外部機器の音を録音する

本機にステレオオーディオケーブルを接続すると、外部機器の音をパソコンを使用しないで直接録音できます。

必ず事前に試し録音して正常に録音できることを確認してください。

## 録音フォルダについて

本機で外部機器の音を録音したファイルはすべてRECORDフォルダ内のAUDIOフォルダ内のA～Dフォルダに保存します。また、ファイル名は録音順に自動的に付けられて保存されます。フォルダ/ファイルについては49ページをご覧ください。

## 録音可能時間について

録音可能時間は録音音質(音質レベル)によって変化します。録音音質は下表の通り4種類あり、初期設定ではHQ(ハイクオリティモード)になっています。

録音音質と録音可能時間の関係を以下に示します。

録音音質	FM放送	外部機器	録音可能時間(6GB)
XHQ(エクストラハイクオリティモード)	ステレオ	ステレオ	約67時間
HQ(ハイクオリティモード)	ステレオ	ステレオ	約80時間
SP(スタンダードモード)	ステレオ	ステレオ	約100時間
LP(ロングモード)	ステレオ	ステレオ	約134時間

- 1度に連続して録音可能な最長時間は、最大6時間です。

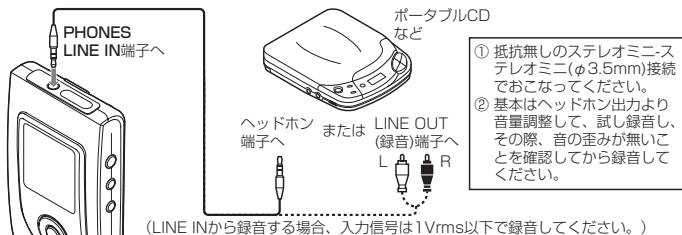


ちょっとこれを！

- 最大録音可能時間は、お買い上げ時の状態で録音した場合の最大時間です。
- 音質を優先される場合はXHQ、通常の場合はHQまたはSP、録音時間優先の場合はLPをお選びください。
- 長時間における録音/再生の場合、ACアダプターを接続してご使用ください。
- 録音残時間表示についての説明は129ページ「録音残時間表示について」をご覧ください。

## 本機を外部機器に接続する




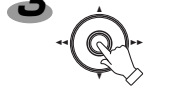
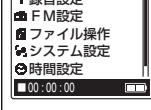
PHONES LINE IN端子に外部機器と接続したステレオオーディオケーブルを接続します。ミニプラグ付のオーディオケーブルをご用意ください。





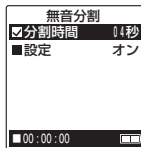

## 1 録音前の準備

### 無音分割を設定する

※ 無音分割とは録音時に無音部分を検出して、自動的にファイルを分割する機能のことです。

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>停止状態で○ボタンを2秒以上押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップメニュー選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<p>◀◀ または ▶▶ ボタンを押して「SETTINGS」を選択する</p>	
<b>3</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとトップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>4</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して「録音設定」を選択する</p>	
<b>5</b> 	<p>○または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>6</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して「無音分割」を選択する</p>	
<b>7</b> 	<p>○または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 無音分割メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと録音設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>8</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して設定する項目(分割時間、設定)を選択する</p> <p>「分割時間」.....分割する秒数を設定する</p> <p>「設定」.....設定のオン/オフを切り換える</p>	
<b>9</b> 	<p>○または ►► ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択した項目の設定画面を表示します(現在の設定値を反転しています)。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと無音分割メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>10</b> 	<p>▲または▼ボタンを押して秒数またはオン／オフを設定する</p> <p>「分割時間」..... 1～10秒の範囲で選択できます  「設定」..... オンまたはオフを切り換えます</p>	
<b>11</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択した項目が確定し、無音分割メニュー選択画面に戻ります。</li> <li>● 手順 <b>8</b>～<b>11</b> を繰り返して、各項目を設定します。</li> </ul>	
<b>12</b> 	<p>MENUボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● もとの表示画面に戻ります。</li> <li>● 設定を途中で中止するには、設定中にMENUボタンを押します。</li> </ul>	



### ご注意

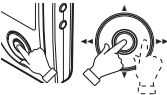
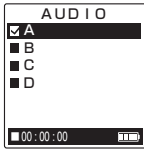
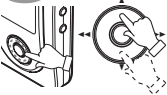



- LINE OUT端子よりノイズが乗っていると、場合によっては分割できないことがあります。また、レベル調整はできません。

## 録音音質を選択する

録音音質の設定は、81ページ「録音音質を選択する」をご覧ください。



## 録音するフォルダを選択する

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>91ページ手順 <b>6</b> で、「録音先選択」が選択されていることを確認して○または▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音先フォルダ選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと録音設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	

	操作とはたらき	表示パネル
<p><b>2</b></p> 	<p>「AUDIO」が選択されていることを確認して○または▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● AUDIOフォルダの選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと録音先フォルダ選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<p><b>3</b></p> 	<p>▲または▼ ボタンを押して録音先のフォルダ(A・B・C・D)を選択する</p>	
<p><b>4</b></p> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択したフォルダに設定し、録音先フォルダ選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<p><b>5</b></p> 	<p>MENUボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● もとの表示画面に戻ります。</li> <li>● 設定を途中で中止するには、設定中にMENUボタンを押します。</li> </ul>	

## 2 録音をはじめる

	操作とはたらき	表示パネル
<p><b>1</b></p>	<p>接続した機器を音が出る状態にする</p>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>2</b> 	<p><b>録音したい位置でREC/REPEATボタンを押す</b></p> <p>表示パネルに“● Recording”を表示し、録音を開始します。</p> <p>現在録音しているファイル名と録音経過時間、録音残時間、録音先フォルダを表示します。</p>	

### ご注意

- 内蔵HDDの容量が一杯の時は、“容量が一杯です録音できません”と表示されて録音できません。また、1フォルダについて512ファイルまで録音できますが、513ファイル目を録音しようとする、“ファイルが一杯です 録音できません”と表示されて録音できません。
- 録音中に内蔵HDDの容量が一杯になった時は、自動的に録音が停止します。

### 録音を停止するには

録音中に▶/■⏮ ボタンを押す



録音を停止して、録音したファイルの先頭に戻ります。

### 録音を一時停止するには

録音中にREC/REPEATボタンを押す



表示パネルに“⏮ Recording”を表示し、録音経過時間が点滅します。

再度REC/REPEATボタンを押すと、録音を再開します。


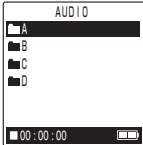
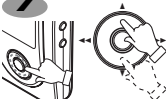

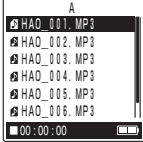

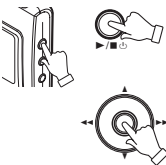

スリープを設定していると、録音していたファイルを作成した後、設定している時間

で電源が切れます。

## 録音したファイルを再生する


本機で録音したファイルを再生します。

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>○ボタンを2秒以上押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップメニュー選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<p>◀◀または▶▶ ボタンを押して「FOLDER」を選択する</p>	
<b>3</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● フォルダの選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとトップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>4</b> 	<p>▲または▼ ボタンを押して「RECORD」を選択する</p>	
<b>5</b> 	<p>○または▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● RECORDフォルダの選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとフォルダ選択画面に戻ります。</li> </ul>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>6</b> 	<p>「AUDIO」が選択されていることを確認して○または▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● AUDIOフォルダの選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとRECORDフォルダ選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>7</b> 	<p>▲または▼ ボタンを押して再生先のフォルダ(A・B・C・D)を選択する</p>	
<b>8</b> 	<p>○または▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択したフォルダ内のファイル選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとAUDIOフォルダ選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>9</b> 	<p>▲または▼ ボタンを押して再生したいファイルを選択する</p>	
<b>10</b> 	<p>▶/■ ◂ または○ ボタンを押す</p> <p>表示パネルに“▶”を表示し、再生を開始します。</p> <p>再生中はファイル番号/ファイル総数と再生経過グラフ、再生経過時間/再生総時間、ファイル名、フォルダ名、ファイル形式、ビットレート、リピート/ランダムの状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 最後のファイルを再生後、停止します。</li> </ul>	



## ご注意

- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります（ファイルのアクセス中は「」が点滅表示します）。また、ファイル数が極端に多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。
- ファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なることがあります。

## 再生を途中で停止するには

再生中に **▶/■** または **○** ボタンを押す

- 詳しくは、63ページ「再生を途中で停止するには」をご覧ください。

## 再生を早送り・早戻しするには

再生中に、**◀◀** または **▶▶** ボタンを1秒以上押し続ける

- 詳しくは、63ページ「再生を早送り・早戻しするには」をご覧ください。

## ファイル送り・戻しするには

再生または停止中に、**◀◀** または **▶▶** ボタンを押す

- 詳しくは、64ページ「ファイル送り・戻しするには」をご覧ください。

# 消去する


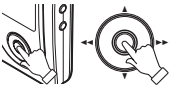

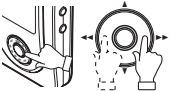

「ファイルを消去する」・「フォルダ内の全ファイルを消去する」で消去できるのは、本機で再生可能なMP3・WMAファイルのみです。

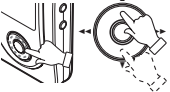

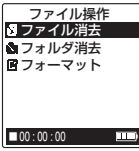
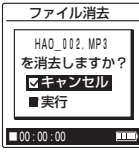

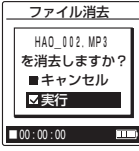
- 他の形式のファイルは消去できません。
- MP3・WMAファイルも再生可能なフォルダに入っていない場合、消去できません。
- 読み取り専用ファイルは消去できません。

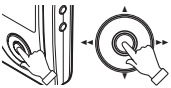
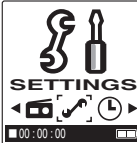

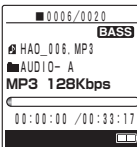
## ご注意

消去する時は、充電電池の残量が充分にあることを確認してください。

## ファイルを消去する

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b>	<b>消去するファイルを選択する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 60ページ「音楽ファイル(MP3/WMA形式)を再生する」または86ページ「録音したFM放送を再生する」、95ページ「録音したファイルを再生する」と同様に操作して消去したいファイルを選択し、停止状態にしておきます。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<b>停止状態でOボタンを2秒以上押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップメニュー選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>3</b> 	<b>◀◀ または ▶▶ ボタンを押して「SETTINGS」を選択する</b>	


	操作とはたらき	表示パネル
<b>4</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとトップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>5</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して「ファイル操作」を選択する</p>	
<b>6</b> 	<p>○または ▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル操作メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>7</b> 	<p>「ファイル消去」が選択されていることを確認して○または ▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 消去するファイルの確認画面を表示します（消去するファイル名を表示しています）。</li> <li>● 消去を中止するには、「キャンセル」が選択されていることを確認して、○ボタンを押す、またはMENUボタンを押します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとファイル操作メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>8</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して「実行」を選択する</p>	







	操作とはたらき	表示パネル
<b>9</b> 	<b>○ボタンを押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● “○○を消去しています”→“○○を消去しました”と表示して選択したファイルを消去し、トップメニュー選択画面に戻ります。</li> <li>● 本機で録音したファイルを消去した場合は、消去したファイルのうしろのファイル番号は繰り上がります。</li> </ul>	
<b>10</b> 	<b>MENUボタンを押す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● もとの停止状態に戻ります。</li> </ul>	

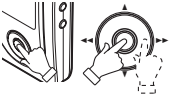
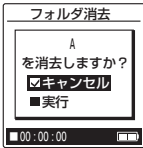
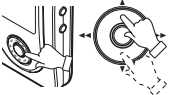




## フォルダ内の全ファイルを消去する

### ご注意

- フォルダ内のファイルは全て消去できますが、フォルダ内にあるサブフォルダは消去できません。

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b>	<b>消去するフォルダ内のいずれかのファイルを選択する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 60ページ「音楽ファイル(MP3/WMA形式)を再生する」または86ページ「録音したFM放送を再生する」、95ページ「録音したファイルを再生する」と同様に操作して消去したいフォルダ内のいずれかのファイルを選択し、停止状態にしておきます。</li> </ul>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>2</b> 	<p>停止状態で○ボタンを2秒以上押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップメニュー選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>3</b> 	<p>◀◀または▶▶ ボタンを押して 「SETTINGS」を選択する</p>	
<b>4</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとトップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>5</b> 	<p>▲または▼ ボタンを押して「ファイル操作」を選択する</p>	
<b>6</b> 	<p>○または▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル操作メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>7</b> 	<p>▲または▼ ボタンを押して「フォルダ消去」を選択する</p>	

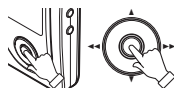



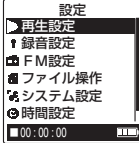


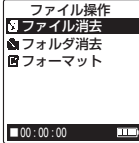
	操作とはたらき	表示パネル
<p><b>8</b></p> 	<p><b>○または ►► ボタンを押す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 消去するフォルダの確認画面を表示します(消去するフォルダ名を表示しています)。</li> <li>● 消去を中止するには、「キャンセル」が選択されていることを確認して、○ボタンを押す、または<b>MENU</b>ボタンを押します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとファイル操作メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<p><b>9</b></p> 	<p><b>▲または ▼ ボタンを押して「実行」を選択する</b></p>	
<p><b>10</b></p> 	<p><b>○ボタンを押す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● “○○を消去しています”→“○○を消去しました”と表示して選択したフォルダ内のすべてのファイル(サブフォルダ内のファイルも含めて)を消去し、トップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<p><b>11</b></p> 	<p><b>MENUボタンを押す</b></p>	

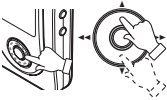
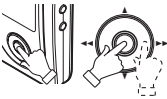




## 全データを消去する(フォーマットする)

内蔵HDDの内容をすべて消去します。消去する前に必要なデータは、前もって必ずバックアップしてください。

フォーマットするときは、必ず電池残量を確認してフォーマットしてください。

- 再生中または、FM受信中はフォーマットはできません。メニューをMUSICかFOLDERに切り換えてからフォーマットしてください。

	操作とはたらき	表示パネル
<b>1</b> 	<p>停止状態で○ボタンを2秒以上押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップメニュー選択画面を表示します。</li> </ul>	
<b>2</b> 	<p>◀◀または▶▶ ボタンを押して「SETTINGS」を選択する</p>	
<b>3</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとトップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>4</b> 	<p>▲または▼ ボタンを押して「ファイル操作」を選択する</p>	
<b>5</b> 	<p>○または▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル操作メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	

	操作とはたらき	表示パネル
<b>6</b> 	<p>▲または▼ボタンを押して「フォーマット」を選択する</p>	
<b>7</b> 	<p>○または▶▶ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●フォーマットの確認画面を表示します。</li> <li>●フォーマットを中止するには、「キャンセル」が選択されていることを確認して、○ボタンを押す、またはMENUボタンを押します。</li> <li>●◀◀ボタンを押すとファイル操作メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>8</b> 	<p>▲または▼ボタンを押して「実行」を選択する</p>	
<b>9</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●“フォーマットを実行してます”→“フォーマットを完了しました”と表示して、HDD内の全データを消去し、再生モード画面を表示します。</li> </ul>	



# タイマーを使用する

タイマーを設定する前には必ず日時を設定してください。(56ページ)  
ヘッドホンはアンテナの役目をしていきますから、録音時にはヘッドホンを抜かないでください。

## 予約録音の設定

指定時間に外部機器の音またはFM放送の録音を開始することができます。録音したファイルはすべてRECORDフォルダ内のAUDIOまたはFMフォルダ内で指定したA～Dフォルダに保存します。また、ファイル名は録音順に自動的に付けられて保存されます。フォルダ/ファイルについては49ページをご覧ください。

### ご注意

- 録音選択先のファイル数、録音先の残時間が充分にあることを確認してください。
- USBを接続していると予約録音はできません。
- タイマー録音する時は、充電電池の残量が充分にあることを確認してください。
- ACアダプターを接続して使用することをおすすめします。

## 1 タイマー録音前の準備

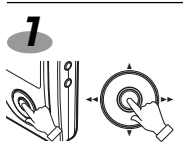

無音分割を設定する(90ページ「無音分割を設定する」参照)

録音音質を選択する(81ページ「録音音質を選択する」参照)

録音する音源を準備する

外部機器の音を録音する場合は、外部機器と接続し(90ページ)指定時間に音が鳴るように設定します。FM放送を録音する場合は、録音する放送局を受信しておきます(74、79ページ)。

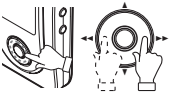




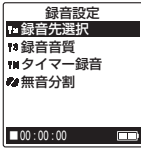


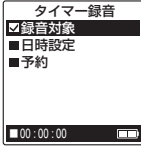
## 2 タイマー録音の録音対象選択

	操作とはたらき	表示パネル
<div data-bbox="75 985 282 1163"></div>	<p>停止またはFM放送受信状態で○ボタンを2秒以上押す</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● トップメニュー選択画面を表示します。</li></ul>	<div data-bbox="777 985 948 1163"></div>



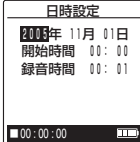
消去する

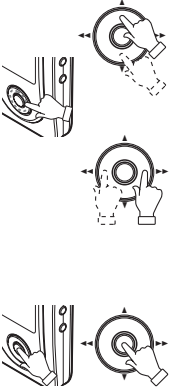
本体操作編

タイマーを使用する



	操作とはたらき	表示パネル
<b>2</b> 	<p>◀◀ または ▶▶ ボタンを押して「SETTINGS」を選択する</p>	
<b>3</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとトップメニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>4</b> 	<p>▲ または ▼ ボタンを押して「録音設定」を選択する</p>	
<b>5</b> 	<p>○ または ▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音設定メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>6</b> 	<p>▲ または ▼ ボタンを押して「タイマー録音」を選択する</p>	
<b>7</b> 	<p>○ または ▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● タイマー録音メニュー選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すと録音設定メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	



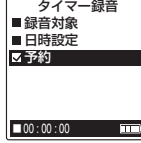

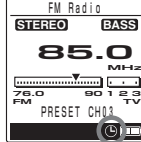
	操作とはたらき	表示パネル
<b>8</b> 	<p>「録音対象」が選択されていることを確認して○または▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音対象(外部録音またはFM録音、録音先フォルダ)選択画面を表示します。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとタイマー録音メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	
<b>9</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して希望の録音対象(AUDIO、FM)を選択する</p> <p>「AUDIO」... 外部機器の音を録音する</p> <p>「FM」..... FM放送を録音する</p>	
<b>10</b> 	<p>○ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択したフォルダに設定し、タイマー録音メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	

3	タイマー録音の日時設定	
	操作とはたらき	表示パネル
<b>11</b> 	<p>▲または ▼ ボタンを押して「日時設定」を選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日時設定をおこなう場合、現在時刻よりも過去の年月日は設定できません。</li> </ul>	
<b>12</b> 	<p>○または ▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音開始日時と録音時間の設定画面を表示します(西暦表示が反転しています)。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとタイマー録音メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	

	操作とはたらき	表示パネル
<p><b>13</b></p> 	<p>▲、▼、◀◀、▶▶ または○ボタンを使って、録音開始時刻、録音時間を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ▲ ボタンを押すと日時が進み、▼ ボタンを押すと日時が戻ります。</li> <li>● ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して設定したい項目(西暦、月、日、時、分、録音時間)を選択できます。ただし、西暦選択中に ◀◀ ボタンを押す、または録音時間の分選択中に ▶▶ ボタンを押すとタイマー録音メニュー選択画面に戻ります。</li> <li>● 録音時間は最長6時間まで設定できます。最後に「録音時間の分」を設定した後、○または ▶▶ ボタンを押してください。</li> <li>● 録音開始時刻、録音時間が設定され、タイマー録音メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	<div data-bbox="787 104 942 271"> <p>日時設定</p> <p>2005年 11月 02日</p> <p>開始時間 18:30</p> <p>録音時間 01:20</p> <p>■ 00:00:00</p> </div> <div data-bbox="787 326 942 492"> <p>タイマー録音</p> <p>■ 録音対象</p> <p>■ <input checked="" type="checkbox"/> 日時設定</p> <p>■ 予約</p> <p>■ 00:00:00</p> </div>

## 4 タイマー録音の予約選択

	操作とはたらき	表示パネル
<p><b>14</b></p> 	<p>▲ または ▼ ボタンを押して「予約」を選択する</p>	
<p><b>15</b></p> 	<p>○または ▶▶ ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 予約選択画面を表示します(現在選択されている予約が反転しています)。</li> <li>● ◀◀ ボタンを押すとタイマー録音メニュー選択画面に戻ります。</li> </ul>	<div data-bbox="787 967 942 1127"> <p>予約</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> オフ</p> <p>■ オン</p> <p>■ 00:00:00</p> </div>

	操作とはたらき	表示パネル
<b>16</b> 	<p>▲または▼ボタンを押して希望の予約を選択する</p> <p>「オフ」..... タイマー録音を実行しない  「オン」..... 設定した開始日時でタイマー録音を実行する</p>	
<b>17</b> 	<p>○または▶▶ ボタンを押す</p> <p>● 予約が設定され、タイマー録音メニュー選択画面に戻ります。</p>	
<b>18</b> 	<p><b>MENUボタンを押す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● もとの停止またはFM受信表示に戻ります。</li> <li>● タイマー録音を設定すると、“⌚”が表示されます。タイマー録音実行後は、表示が消えます。</li> <li>● 指定時間前に録音準備(一時停止状態)となり、指定時間になると、録音が自動的に開始され、録音するファイルが作成されます(予約録音中は、“⌚”が点滅します)。</li> </ul>	

タイマー録音設定を途中で中止するには、設定中に**MENU**ボタンを押します。



ちょっとこれを！

- FM予約録音では、予約録音時間が来ても、楽曲再生中やFM放送録音中はタイマー録音が始まりません。また、外部機器予約録音では、再生中や録音中、FM放送受信中はタイマー録音が始まりません。
- タイマー録音設定時間に電源が切れている場合は、自動的に電源が入り録音を開始します。
- 日時設定が現在時刻よりも過去に設定されていると、予約を選択できません。必ず、日時設定で正しい時刻に設定し直してください。
- 録音準備状態で録音停止すると、タイマー録音が今回はキャンセルされます。

# 各種メニューの設定

## 共通操作

### 1. 停止または再生中に○ボタンを2秒以上押します。

- トップメニュー選択画面を表示します。
- ファイル操作メニュー項目は、再生中に操作することはできません。
- 一部メニュー項目が表示されます。その場合は手順 3. へ進んでください。



### 2. ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して、設定したいメニュー分類(🎧、📁、📀、🔍、🕒)を選択し、○ボタンを押します。

- 選択した各メニュー選択画面を表示します。

### 3. ▲、▼、◀◀、▶▶ ボタンや○またはMENUボタンを押してメニューを設定します。



▲ または ▼ ボタンを押して、各メニュー項目を選択します。



設定中に、◀◀ ボタンを押すと、設定をキャンセルして各メニュー画面に戻ります。



各メニュー項目を選択後、▶▶ ボタンを押すと選択したメニューの設定画面を表示します。



各メニュー項目を選択後、○ボタンを押すと選択したメニューの設定画面を表示します。また、各設定を選択後、○ボタンを押すと設定を決定し、各メニュー選択画面に戻ります。



設定後、MENUボタンを押すと、もとの停止(再生または受信)画面に戻ります(設定の変更が反映されています)。

設定中に、MENUボタンを押すと、設定をキャンセルしてもとの停止(再生または受信)画面に戻ります。

各種メニューと設定できる内容を次に示します。

※ 各メニュー選択画面で表示しているのが初期設定値です。

## MUSICメニュー項目



本操作をおこなうには、MusicFileMasterでおこなってください。

### ■MUSIC(曲選択)

再生する曲を、再生モード(全曲、アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト、フォルダ別)を指定して検索・再生します。

- ・ **全曲**:全てのファイルを検索し、再生します。
- ・ **アーティスト**:アーティストを指定して検索し、アーティスト単位で再生します。
- ・ **アルバム**:アルバムを指定して検索し、アルバム単位で再生します。
- ・ **ジャンル**:ジャンルを指定して検索し、ジャンル単位で再生します。
- ・ **プレイリスト**:プレイリストを指定して検索し、プレイリスト単位で再生します。
- 60ページ「再生モードを選ぶ」参照。
- MusicFileMasterで転送していない場合、「ファイルがありません」と表示し、楽曲の再生はできません。



## FOLDERメニュー項目



### ■FOLDER(ファイル選択)

再生するファイル(または曲)を、フォルダを指定して検索・再生します。

- ・ **MUSIC**:本機に転送した曲をフォルダ単位で検索し、再生します。
- ・ **RECORD**:本機で録音したファイルをフォルダ単位で検索し、再生します。
- 60ページ「再生モードを選ぶ」、86ページ「録音したFM放送を再生する」、95ページ「録音したファイルを再生する」参照。



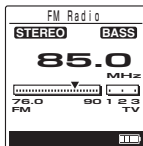
## FMメニュー項目



### ■FMモード

FM放送を聞いたり、録音するモードです。

- 71ページ「FMモードに切り換えるには」参照。

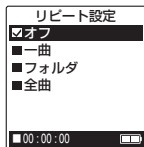




## ■ リピート設定

リピートモード(オフ/一曲/フォルダ/全曲)を選択します。

- **オフ**: リピートモードを解除して通常再生します。
  - **一曲**: 選択中の1曲を繰り返し再生します。
  - **フォルダ**: 選択中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲を繰り返し再生します。
  - **全曲**: 現在選択中のフォルダまたは、再生モードの各リスト内の曲を繰り返し再生します。
  - FOLDER再生時にリピート設定内の全曲設定とランダム設定を同時に設定できません。
  - 68ページ「リピート再生について」参照。
- ※ 各再生モード(全曲、アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト)を指定して再生している場合は、リピートモードの「フォルダ」は表示されません。



## ■ ランダム設定

ランダム再生のオン/オフを選択します。

- **オフ**: ランダム再生を解除して通常再生します。
- **オン**: 現在選択中のフォルダまたは、再生モードの各リスト内の曲を順不同に並べ換えて繰り返し再生します。
- FOLDER再生時にオールリピート設定とランダム再生を同時に設定できません。
- 68ページ「ランダム再生について」参照。



## ■ BASS設定

低音域の強調モードのオン/オフを設定します。

- **オフ**: 低音域を強調せずにフラットな音質で再生します。
- **オン**: 低音域が強調された迫力のある音質で再生します。
- 67ページ「低音を強調するには」参照。

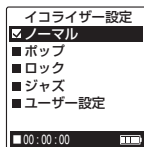




## ■ イコライザー設定

音楽に合わせた音質を選択します。また、ユーザー設定を選択すると音質を自分の好みに設定できます。

- ・ **ノーマル**: 低音域から高音域までフラットな音質にします。
- ・ **ポップ**: 高音域を強調します。
- ・ **ロック**: 低音域を強調します。
- ・ **ジャズ**: 中音域を強調します。
- ・ **ユーザー設定**: 音楽に合わせた音質を60Hz、250Hz、1kHz、4kHz、12kHzの5つの周波数帯別に自分の好みに合わせて9段階に設定します。
- 64ページ「お好みの音質で聞くには」、66ページ「お好みの特性に設定する(ユーザー設定)」参照。



## ■ イントロ再生

楽曲の最初の部分から、選択した秒数を連続して再生します。

- ・ **オフ**: イントロ再生を解除して通常再生します。
- ・ **5秒**: ファイルの頭の部分の5秒間を次々と再生します。
- ・ **10秒**: ファイルの頭の部分の10秒間を次々と再生します。
- ・ **15秒**: ファイルの頭の部分の15秒間を次々と再生します。



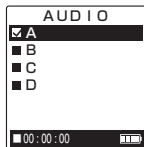
## SETTINGS (設定) - 録音設定メニュー項目



## ■ 録音先選択

録音時の録音先フォルダを選択します。

- ・ **AUDIO-A、AUDIO-B、AUDIO-C、AUDIO-D**:  
AUDIOフォルダ内のA、B、C、Dフォルダを選択します。
- ・ **FM-A、FM-B、FM-C、FM-D**:  
FMフォルダ内のA、B、C、Dフォルダを選択します。
- 83ページ「録音するフォルダを選択する」参照。



## ■ 録音音質

録音時の録音音質を設定します。

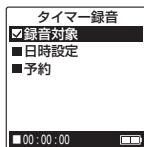
- ・ **LP**:ロングモード
  - ・ **SP**:スタンダードモード
  - ・ **HQ**:ハイクオリティモード
  - ・ **XHQ**:エクストラハイクオリティモード
- 81ページ「録音音質を選択する」参照。



## ■ タイマー録音

録音対象、日時設定、予約の設定をおこないます。

- ・ **録音対象**→**AUDIO**または**FM**:タイマー録音の録音ソースを選択します。
  - ・ **日時設定**→YYYY年MM月DD日HH時MM分→**録音する時間**:設定した日時に録音を開始し、設定した時間録音します。
  - ・ **予約**→**オフ**または**オン**:タイマー録音のオン/オフを選択します。
- 105～109ページ「タイマーを使用する」参照。



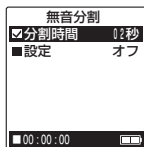
## ■ 無音分割

録音時に無音部分を検出して自動的にファイルを分割します。

- ・ **分割時間**:秒(1～10秒の範囲を ▲ または ▼ ボタンで選択できます)分割時間の初期設定値は2秒です。
- ・ **設定**:オン/オフ(▲または▼ボタンを押して表示を切り替えます)

決定は○ボタンを押して次の選択に移動します。

- 90ページ「無音分割を設定する」参照。



## SETTINGS(設定) - FM設定メニュー項目



## ■ 5T/mono ステレオ/モノラルモード

FM放送受信時のモード(ステレオ/モノラル)を設定します。

- ・ **ステレオ**:ステレオ放送受信時にステレオモードにします。
  - ・ **モノラル**:モノラルモードで受信します。
- 72ページ「FMステレオ放送の受信について」参照。



## ■ オートプリセット

オートスキャンで受信できた放送局を自動的に登録するモードを設定します。

- ・ **キャンセル**: オートプリセットを中止します。
- ・ **実行**: オートプリセットを開始します。
- 76ページ「希望局をプリセットする」参照。



## ■ プリセットソート

プリセットしたチャンネルを周波数の低い方から順に登録し直すことができます。

- ・ **キャンセル**: プリセットソートを中止します。
- ・ **実行**: プリセットソートを開始します。
- 78ページ「プリセットしたチャンネルをソートするには」参照。



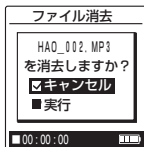
## SETTINGS(設定) - ファイル操作メニュー項目



## ■ ファイル消去

選択中のファイルを消去します。

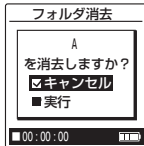
- ・ **キャンセル**: 消去を中止します。
- ・ **実行**: 選択中のファイルを消去します。
- 98ページ「ファイルを消去する」参照。



## ■ フォルダ消去

選択中のファイルが存在するフォルダ内の全ファイルを消去します。

- ・ **キャンセル**: 消去を中止します。
- ・ **実行**: 選択中のファイルが存在するフォルダ内の全ファイルを消去します。
- 100ページ「フォルダ内の全ファイルを消去する」参照。



## ■ フォーマット

内蔵HDDをフォーマット(全データ消去)します。

- ・ **キャンセル**: フォーマットを取りやめます。
- ・ **実行**: 内蔵HDD中の全データを消去します。
- 103ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照。



## SETTINGS(設定) - システム設定メニュー項目



## ■ 操作音

操作音(BEEP音)のオン/オフを設定します。

- ・ **オフ**: 操作音(BEEP音)を解除します。
- ・ **オン**: 操作音を鳴らします。



## ■ オートパワーオフ(AUTO POWER OFF)

停止時に何も操作しないで放置したとき、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

- ・ **OFF** ⇄ **01(1分) ~ 15(15分)**
- 1分単位で設定できます。



## ■ スリープ(SLEEP)

再生中やFMモード時に自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

- ・ **OFF** ⇄ **10(10分) ~ 90(90分)**
- 10分単位で設定できます。



## ■ コントラスト(Contrast)

表示パネルのコントラストを調整します。

コントラスト

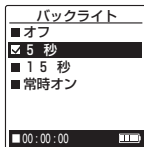
淡(01) ⇄ 濃(10)



## ■ バックライト

電源を入れて操作したときにバックライトの点灯する時間(秒)を設定します。

- ・ **オフ**:バックライトを点灯しません(ただし、電源を入れたときののみ点灯します)。
- ・ **5秒**:バックライトを5秒間点灯します。
- ・ **15秒**:バックライトを15秒間点灯します。
- ・ **常時オン**:バックライトを常時点灯します。



## ■ メニューリセット

設定した各メニュー項目の設定値を初期値(工場出荷時)の設定に戻します。

- ・ **キャンセル**:メニューリセットを取りやめます。
- ・ **実行**:メニュー項目の設定をリセットします。

### で注意

設定した内容が全て初期化されますので慎重に操作してください。



## ■ 言語(Language)

メニュー設定時などに表示される言語を設定します。

- ・ 日本語または英語から選択します。



## 製品情報

ファームウェアのバージョンや、内蔵HDDの総容量、残りの空き容量(残容量)、表示言語を表示します。



## SETTINGS (設定) - 時間設定メニュー項目



## 時計 現時刻設定

現在の日時設定(年月日・時分)をおこないます。

YYYY年MM月DD日、HH時MM分

- 56ページ「日時を設定する」参照。



## 時計表示設定

時計表示画面での表示デザインを選択します。

- ・ デジタル1: デジタル1で表示します。
- ・ デジタル2: デジタル2で表示します。



## 12H/24H表示

時刻設定時や時計表示画面で表示する時間表示の12H/24Hを選択します。

- ・ 12H: 12時間表示で表示します。
- ・ 24H: 24時間表示で表示します。



## SETTINGS(設定) - PC接続メニュー項目



### ■ PC接続

パソコンに接続したときに本機の認識されるモードを選択します。

- **USB Mass Storage**: MusicFileMasterやエクスプローラ使用時、WMAは著作権無しの時に使用可能  
リムーバブルディスクとして認識されます。WMP9または10で音楽コンテンツを転送できます。
- **WMP10(DRM10)**: 著作権有無の時に使用可能  
Windows XPとWindows Media Player10でのみ対応  
接続時に自動的にWMP10を起動します。DRM(セキュリティ保護されている)付WMAデータを転送するときのみ選択します。



## CLOCKメニュー項目



### ■ 時計表示

表示パネル全体に大きく現在日時を表示します。  
MENUボタンを押すともとの表示に戻ります。



## EXITメニュー項目



### ■ EXIT

メニュー画面表示を解除してもとの表示に戻ります。



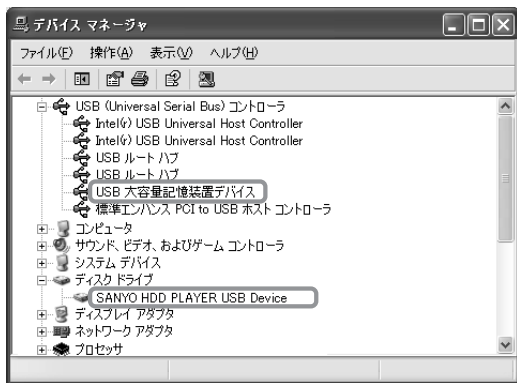
## 本機が正常に認識されているか確かめるには

先ず、本機の設定を確認してください。

- 1 本機の電源を入れた後、○ボタンを2秒以上押してメニュー選択画面にしてください。
- 2 [SETTINGS]—[PC接続]を選択して、設定が「USB Mass Strage」になっていることを確認してください。「WMPlayer 10 (DRM 10)」になっていたら、「USB Mass Strage」に設定をし直してください。

次に本機をパソコンから一度取り外し、再接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。

デスクトップ上の【マイ コンピュータ】を右クリックし、表示されるメニューから【プロパティ】を選択して【システムのプロパティ】画面を開きます。【ハードウェア】タブ内の【デバイスマネージャ】ボタンをクリックして【デバイスマネージャ】を開きます。【ディスクドライブ】と【ユニバーサルシリアルバスコントローラ】を開いて、下図のように表示されていれば、ドライバが正しくインストールされています。



上図のような表示にならない場合、次ページからの「デバイスマネージャで正しく表示されなかったら?」をご覧ください、お使いのOSにしたがった操作をおこなってください。



## デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？

※ 前ページのデバイスマネージャのような表示がでない場合、以下の手順で確認をおこなってください。

1. 起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
2. 接続されている他のUSB機器(正しく動作しているマウス・キーボードは除く)はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
3. パソコンにUSBポートが複数ある場合(前面・背面など)は、別のポートに本機を接続する。
4. USBハブ(USB端子分配用周辺機器)を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンのUSBポートに直接付属の専用USB接続ケーブルを使用して本機を接続する。

### ご注意

接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用してください。

弊社Webサイトにて、デジタルミュージックプレーヤーが認識されない場合の詳細なトラブルシューティングを掲載しています。

本機の操作において正常に認識されない場合は、弊社Webサイトをご覧ください。  
<http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/index.html>

本機が正常に認識されているか確かめるには

その他

## 廃棄時の充電電池の処理について

### ⚠ 警告(廃棄する時以外は開けないでください)

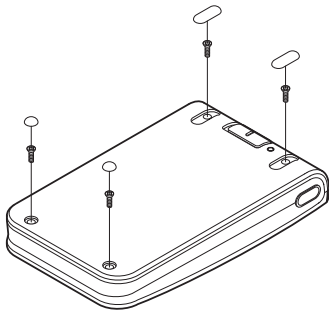
本機には、リチウムイオン充電電池を内蔵しております。リチウムイオン充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。本機の廃棄に際しては、リチウムイオン充電電池を取り外して、リサイクルにご協力ください。

#### ご注意

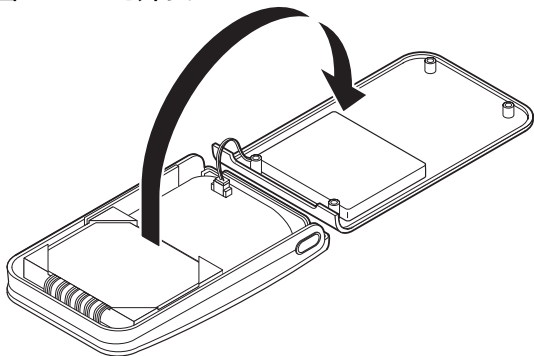
- 一度お客さまが開けられますと、本製品の保証はできません。
- 本機を廃棄するとき以外は、絶対に本機を分解しないでください。
- 内蔵の充電電池を取り出すときは、充電電池を完全に使い切ってから取り出してください。

### 内蔵の充電電池を取り出すには

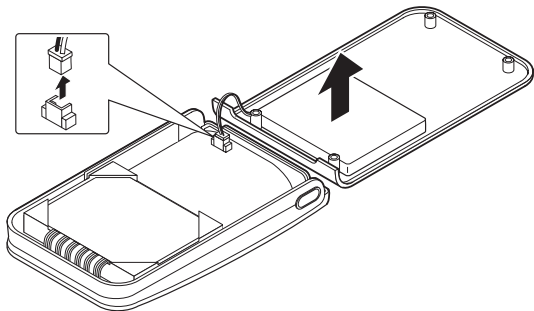
- 1 電源が入っている場合は、停止状態にして▶/■ ⏻ (電源) ボタンを2秒以上押して電源を切る。
- 2 本体裏面にあるカバーを外した後、ネジ4本を外す。



### 3 本体裏面のカバーを外す。



### 4 内蔵の充電電池を本体から取り外し、接続されているコネクタを引き抜く。



#### ご注意

- 取り外した充電電池は、お買い上げの販売店やお近くの電気店にお持ちいただくか、各地方自治体の指示(条例)にしたがってリサイクル処理をしてください。  
なお、取り外した充電電池は単品では販売していません。充電電池の交換についてはお買い上げの販売店またはお近くのお客さまご相談窓口にご相談ください。

# 故障かな?と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。  
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

## —どのようなトラブルですか?—

- 本機が動作しない ..... 124ページ
- ボタンを押しても反応しない ..... 125ページ
- 音声が聞こえない ..... 125ページ
- AUDIOまたはFMフォルダ内のファイルが再生できない ..... 125ページ
- 日時が正しく表示されない ..... 125ページ
- MUSICフォルダ内のファイルが再生できない  
または正しく再生できない ..... 126ページ
- 再生モードで曲選択時、アーティスト・アルバム・ジャンルの  
検索ができない ..... 126ページ
- パソコン接続時に、リムーバブルディスクが表示されない ..... 127ページ
- ファイルが消去できない ..... 128ページ
- FM放送が受信(録音)できない ..... 128ページ
- 録音や再生が正常に動作しない ..... 128ページ
- MusicFileMasterで本機が正しく認識されない ..... 128ページ

## 本機が動作しない

原 因	充電電池切れである
解決方法	内蔵の充電電池を充電してください。 51ページ「充電電池を充電する」参照
原 因	動作中に表示や動作が正常に働かなくなった
解決方法	本機のリセットスイッチを押してリセットしてください。 129ページ「本機の電源をリセットする」参照

## ボタンを押しても反応しない

原因	誤動作防止機能(ホールド機能)が設定されている
解決方法	誤動作防止機能(ホールド機能)を解除してください。 55ページ「誤動作を防止する(ホールド機能)」参照
原因	USB接続したままである
解決方法	本機をパソコンから取り外してください。 22ページ「本機をパソコンから取り外す」参照

## 音声が聞こえない

原因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 56ページ「音量を調節する」参照

## AUDIO(A・B・C・D)またはFM(A・B・C・D)フォルダ内のファイルが再生できない

原因	ファイル名が異なる
解決方法	パソコン上でファイル名を変更すると、再生できません。ファイルをMUSICフォルダに移してください。

## 日時が正しく表示されない

解決方法	現日時設定が初期化されていますので日時を再設定してください。 56ページ「日時を設定する」参照
------	--

## MUSICフォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原因	・再生できるファイル形式ではない ・本機でサポートされていないか有効期限を超えた著作権保護のされている音楽ファイル
解決方法	正常に再生できるファイルをご使用ください。
原因	本機で再生できないデータとなっている
解決方法	エンコーダー (MP3・WMA変換) ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。
原因	プレイリスト再生時、リストに書かれているファイルがMUSICフォルダ内にない
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSICフォルダ内にそのファイルを転送してください。

## 再生モードで曲選択時、アーティスト・アルバム・ジャンルの検索ができない

原因	転送された楽曲のデータベースが作成されていない
解決方法	付属ソフト「MusicFileMaster」で転送した楽曲のデータベースを作成してください。 データベースの再作成について詳しくは、「MusicFileMaster」のオンラインヘルプ参照
原因	MUSICフォルダに512ファイル以上(サブフォルダを含めて)保存されている
解決方法	フォルダの中のファイルを512ファイル以下にしてください。

## パソコン接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	専用USB接続ケーブルのUSBコネクタが正しく最後まで差し込まれているかどうか確認してください。 パソコンと本機が正しく認識しない場合、再度接続してください。 20ページ「本機をパソコンに接続する」参照
原因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSBポートと本機とを直接に専用USB接続ケーブルを使用して接続してください。または、パソコン本体に複数USBポートがある場合は、他のポートに接続してください。 20ページ「本機をパソコンに接続する」参照
原因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。
原因	パソコンがスリープ状態になっている
解決方法	スリープ状態を解除してください。
原因	PC接続モードが「WMPlayer10(DRM10)」になっている
解決方法	PC接続モードを「USB Mass Storage」にしてください。

故障かな?と思うまえに

その他

## ファイルが消去できない

原因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている
解決方法	本機をパソコンに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。 または、内蔵HDDのフォーマット(初期化)をおこなってください。 103ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

## FM放送が受信(録音)できない

原因	ヘッドホン(アンテナ兼用)が差し込まれていない
解決方法	本機のヘッドホン端子に付属のステレオヘッドホンを差し込んでください。

## 録音や再生が正常に動作しない

原因	内蔵HDDが異常である
解決方法	内蔵HDDのフォーマット(初期化)をおこなってください。 103ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

## MusicFileMasterで本機が正しく認識されない

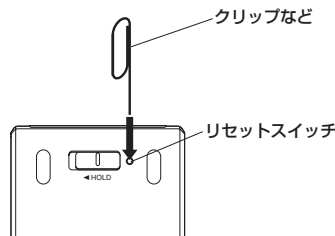
原因	本機をパソコンでフォーマット後、すぐにMusicFileMasterを起動した
解決方法	本機でフォーマットしてからパソコンに接続し、MusicFileMasterを起動してください。 103ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照
原因	PC接続モードが「WMPlayer10(DRM10)」になっている
解決方法	PC接続モードを「USB Mass Storage」にしてください。



より詳細な情報やその他のよくあるご質問は、当社ホームページのサポートページ  
“<http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/index.html>”にて随時更新  
しています。そちらも併せてご覧ください。

## 本機の電源をリセットする

通常リセットする時は、動作中に表示や動作が異常になったときリセットします。  
表示や動作が異常になっていない時には、絶対にリセットスイッチを押さないでく  
ださい。



## お手入れについて

### お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがあ  
りますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

### 温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではあ  
りません。

### 録音残時間表示について

本機では録音状態にしますと、全容量(6GB)に対しての残時間表示が【Remain】と  
して表示されますが、録音状態にした時の残時間表示は1回の最大録音時間は6時  
間を基準とした空き容量によって変わります。

# 主な仕様

内蔵HDD	: 6GB
最大保存曲数※1	: 約3000曲
録音時間	: 約67時間(XHQ時) 約80時間(HQ時) 約100時間(SP時) 約134時間(LP時)
対応OS	: Windows XP/2000/Me
再生フォーマット	: MP3(MPEG1 LAYER3, MPEG2 LAYER3, MPEG2.5 LAYER3)・WMA
録音フォーマット	: MP3
再生対応ビットレート※2	: 16kbps~320kbps(MP3)・32kbps~192kbps:DRM対応(WMA)
再生周波数	: 20Hz~20kHz
録再周波数特性	: 20Hz~16kHz(LINE IN 接続時)
サンプリング周波数	: 16kHz~44.1kHz
チューナー部受信周波数	: FM 76~90MHz, TV 1~3ch / FM 87.50~108.00MHz
S/N比	: 85dB
入・出力端子	: USB/ステレオヘッドホン3.5φミニ(LINE IN 兼用)
動作温度	: +5℃~+35℃
定格出力(ヘッドホン)	: 8mW+8mW(16Ω負荷時, JEITA/DC)
電源	: リチウムイオン電池(充電式)
充電時間	: 約3時間(ACアダプター) / 約4時間(USB充電)
電池持続時間(JEITA)	: MP3連続再生時間: 満充電時約12時間(EQ:NORMAL,BASS:OFF) WMA連続再生時間: 満充電時約12時間(EQ:NORMAL,BASS:OFF) FM連続再生時間: 満充電時約13時間30分 LINE IN録音時間: 満充電時約4時間 FM録音時間: 満充電時約3時間 ※ 連続録音再生時間は、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
最大外形寸法	: 幅 約51.7 × 高さ 約89.2 × 奥行き 約19.5mm(突起部含まず)
質量	: 約87g
付属品	: 専用USB接続ケーブル (1) 本書(保証書付) (1) ACアダプター (1) 基本操作ガイド (1) インナーイヤー型ステレオヘッドホン(FMアンテナ兼用) (1) CD-ROM(MusicFileMaster) (1)

- 内蔵HDDの特性により、録音時間が短くなることがあります。
- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。  
※1 64kbpsのWMA形式で1曲およそ4分の場合です。  
※2 ファイルによっては正しく再生できない場合があります。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

## アフターサービスについて

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の124ページからもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

### 部品の保有期間について

デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

# お客さまご相談窓口

## まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

## 転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。

**総合相談窓口：** 家電製品についての一般的なご相談

**修理相談窓口：** 修理サービスについてのご相談

## 総合相談窓口（全般的なご相談）

三洋電機(株) お客様センター

### 相談受付時間

9:00～18:30

北海道地区 ..... 札 幌 ☎ (011)290-1522  
東北地区 ..... 仙 台 ☎ (022)714-6137  
関東地区 ..... 東 京 ☎ (03)3815-1111  
中部・北陸地区 . 名古屋 ☎ (052)533-5245  
近畿・四国地区 . 大 阪 ☎ (06)6994-9570  
中国地区 ..... 広 島 ☎ (082)297-6067  
九州・沖縄地区 . 福 岡 ☎ (092)263-7629

● 郵便・FAXでご相談される場合は  
三洋電機(株)お客さまセンター

〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5  
FAX (06)6994-9510

## 修理相談窓口（修理サービスについてのご相談）

三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間 月曜日～金曜日 [9:00～18:30]

土曜・日曜・祝日 [9:00～17:30]

### 出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東コールセンター 東京 ☎ (03)5302-3401

西コールセンター 大阪 ☎ (06)4250-8400

関東・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話番号をご利用いただけます。

## 東コールセンターへの転送電話番号

北海道地区	札幌	☎ (011)833-7888
東北地区	仙台	☎ (022)382-2213
長野地区	長野	☎ (0263)26-1772
新潟地区	新潟	☎ (025)285-2451
福島地区	福島	☎ (024)945-6811

## 西コールセンターへの転送電話番号

北陸地区	金沢	☎ (076)237-6650
東海地区	名古屋	☎ (052)979-3456
中国地区	広島	☎ (082)293-9333
四国地区	高松	☎ (087)844-8321
九州地区	福岡	☎ (092)922-9311

沖縄地区 沖縄 ☎ (098)944-5018

受付時間 月曜日～土曜日(日曜、祝日および当社の休日を除く)

[9:00～12:00、13:00～17:30]

※「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。

受付時間： 月曜日～土曜日(日曜、祝日を除く) [9:00～17:30]

### お客さま相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまが相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

#### <利用目的>

- お客さまが相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

#### <業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、

ホームページ<http://www.sanyo.co.jp>をご覧ください。

## 北海道地区

札幌	幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函館	館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
苫小牧	牧	(0144)33-3421	〒053-0042	苫小牧市三光町2-2-5
旭川	川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北3条7-3-3
北見	見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧路	路	(0154)22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町7-7

## 東北地区

仙台	台	(022)384-0444	〒981-1225	宮城県名取市飯野坂3-4-8
青森	森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市大字上野字山辺29-5
八戸	戸	(0178)28-9225	〒039-1121	青森県八戸市卸センター1-6-7
盛岡	岡	(019)635-0136	〒020-0863	岩手県盛岡市南仙北1-13-6
水沢	沢	(0197)23-6621	〒023-0003	岩手県水沢市佐倉河字羽黒田45
山形	形	(023)641-1769	〒990-2432	山形県山形市荒楯町1-21-30
酒田	田	(0234)23-3817	〒998-0842	山形県酒田市亀ヶ崎6-7-16
秋田	田	(018)862-6551	〒010-0925	秋田県秋田市旭南3-2-67
郡山	山	(024)945-6793	〒963-0111	福島県郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7

## 関東・甲信越地区

さいたま	ま	(048)664-2319	〒331-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町1-30
坂戸	戸	(049)284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
栃木	木	(028)653-2811	〒321-0106	栃木県宇都宮市上横田町1302-12
茨城	城	(0298)64-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水戸	戸	(029)251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
群馬	馬	(027)362-1151	〒370-0001	群馬県高崎市中尾町池の内441
西関	東	(0276)22-7702	〒373-0015	群馬県太田市東新町72-2
新潟	潟	(025)285-2431	〒950-0973	新潟県新潟市上近江3-5-18
長岡	岡	(0258)24-0705	〒940-0029	新潟県長岡市東蔵王2-3-46
上越	越	(025)543-3535	〒942-0074	新潟県上越市石橋2-2-9
城東	東	(03)3607-3191	〒125-0051	東京都葛飾区新宿4-10-15
城北	北	(03)3958-1261	〒173-0021	東京都板橋区弥生町72-5
城西	西	(03)3376-3361	〒151-0073	東京都渋谷区笹塚3-1-13
武蔵	野	(042)364-7721	〒183-0045	東京都府中市美好町2-3-1
戸塚	塚	(045)827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
相模	原	(042)742-2272	〒228-0805	神奈川県相模原市豊町17-11
平塚	塚	(0463)55-3926	〒254-0014	神奈川県平塚市四之宮3-20-63
千葉	葉	(043)241-7311	〒260-0025	千葉県千葉市中央区問屋町5-20
鎌ヶ	谷	(047)441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59
山梨	梨	(055)226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23

## 中 部 地 区

名古屋	(052)979-3455	〒461-0011	愛知県名古屋市中区白壁5-41
岡崎	(0564)23-3418	〒444-0065	愛知県岡崎市柿田町1-2
岐阜	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静岡	(054)261-4151	〒420-0813	静岡県静岡市長沼885
沼津	(055)963-1000	〒410-0861	静岡県沼津市真砂町3-1
浜松	(053)461-8685	〒435-0016	静岡県浜松市和田町795-2
松本	(0263)26-1107	〒390-0835	長野県松本市高宮東1-35
長野	(026)299-9501	〒388-8006	長野県長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2
金沢	(076)237-7811	〒920-0062	石川県金沢市割出町627
富山	(076)422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福井	(0776)22-6082	〒918-8231	福井県福井市問屋町1-17
三重	(059)228-8126	〒514-0838	三重県津市岩田10-3

## 近 畿 地 区

大阪	(06)6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大阪南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
大阪東	(0729)65-1811	〒578-0903	大阪府東大阪市今米2-3-29
阪和	(072)221-8571	〒590-0959	大阪府堺市大町西3-1-16
京都	(075)672-0877	〒601-8102	京都府京都市南区上鳥羽菅田町41
三丹	(0773)27-3458	〒620-0856	京都府福知山市土師宮町1-66
奈良	(0744)22-7888	〒634-0837	奈良県橿原市曲川町7-1-31
滋賀	(077)545-4221	〒520-2134	滋賀県大津市瀬田1-1-5
和歌山	(073)436-3110	〒641-0006	和歌山県和歌山市中島369
田辺	(0739)22-7520	〒646-0051	和歌山県田辺市稲成町南江原318
神戸	(078)651-3951	〒652-0897	兵庫県神戸市兵庫区駅南通2-1-11
阪神	(06)6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫路	(0792)96-2141	〒670-0981	兵庫県姫路市西庄字八町108
淡路	(0799)22-2702	〒656-0101	兵庫県洲本市納字横竹308-1

## 中国地区

広島	島	(082)293-6511	〒733-0012	広島県広島市西区中広町3-17-5
福岡	山	(084)954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
岡山	山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
津山	山	(0868)22-6133	〒708-0002	岡山県津山市上河原239-10
鳥取	取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南古方3-107
浜田	田	(0855)22-7883	〒697-0023	島根県浜田市長沢町3049
松江	江	(0852)23-1183	〒690-0017	島根県松江市西津田4-1-14
山口	口	(083)973-3391	〒754-0024	山口県吉敷郡小郡町若草町2-6

## 四国地区

愛媛	媛	(089)971-3342	〒791-8036	愛媛県松山市高岡町148-1
宇和	島	(0895)27-1818	〒798-0077	愛媛県宇和島市保田甲934-3
香川	川	(087)843-1840	〒761-0104	香川県高松市高松町2175-10
高知	知	(088)860-0229	〒781-5106	高知県高知市介良乙1044
徳島	島	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150-2

## 九州地区

福岡	岡	(092)928-3414	〒818-8534	福岡県筑紫野市紫6-1-1
北九州		(093)521-5286	〒802-0023	福岡県北九州市小倉北区下富野2-10-28
中九州		(0942)21-3534	〒830-0052	福岡県久留米市上津町字赤坂1890-2
長崎	崎	(095)824-5628	〒850-0012	長崎県長崎市本河内3-21-43
佐世保	保	(0956)31-7635	〒857-1162	長崎県佐世保市卸本町17-1
熊本	本	(096)357-1122	〒861-4106	熊本県熊本市南高江3-2-88
八代	代	(0965)35-3483	〒866-0871	熊本県八代市田中東町12-7
大分	分	(097)543-3454	〒870-0822	大分県大分市大道町3-4-32
宮崎	崎	(0985)29-3441	〒880-0036	宮崎県宮崎市花ヶ島町観音免883
鹿児島	島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町11-10

## 沖縄地区

沖縄	縄	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株) サービス部
----	---	---------------	-----------	-------------------------------------

(290305F)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。



# 無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
    - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
    - ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
    - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
  - 二. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
  - ホ. 本書の提示がない場合。
  - ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
  3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
  4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼にできない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧ください。
  5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
  6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

## 修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- 保証期間経過後の修理補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」(131ページ)をご覧ください。

# 索引

## アルファベット

12H/24H表示 .....	118
A-Bリポート .....	70
ACアダプター .....	6, 10, 51
AUDIOフォルダ ..	50, 89, 93, 105, 125
BASS設定 .....	67, 112
BEEP音 .....	116
CD-ROM .....	10, 17
DATAフォルダ .....	50
FM設定メニュー .....	114
FMフォルダ .....	49, 81, 83, 105, 125
FMモード .....	71, 111
HOLD .....	13, 55
MP3 .....	11, 12, 27, 28, 36, 38, 40, 60, 98, 100, 126
MusicFileMaster .....	11, 12, 17~19, 33~48, 126, 128
MUSICフォルダ .....	49, 50, 125, 126
PC接続 .....	119
PHONES LINE IN端子 .....	13, 53, 90
RECORDフォルダ ..	49, 50, 81, 89, 105
USB充電 .....	52, 53
USB接続ケーブル .....	52
USB端子 .....	13, 51, 52
USBポート .....	15, 20, 24, 40, 46, 121, 127
Windows Media Player ....	11, 28~32
WMA .....	11, 27, 28, 36, 38, 40, 60, 98, 100, 126

## ア行

アーティスト .....	40, 60, 62
アフターサービス .....	131
アルバム .....	40, 60
イコライザー設定 .....	65, 113
一時停止 .....	85, 94
インストール .....	17

イントロ再生 .....	113
インナーイヤー型ステレオヘッドホン ....	10
エクスポーラ .....	25, 26
オートパワーオフ .....	54, 116
オートプリセット .....	76, 115
お客さまご相談窓口 .....	132~136
お手入れ .....	129
音質 .....	64, 113
オンラインヘルプ .....	35
音量 .....	56, 125

## カ行

各部のなまえ .....	13
曲選択 .....	111, 126
曲名 .....	61, 62, 63
繰り返し .....	68, 112
言語 .....	117
現時刻設定 .....	57, 118
故障かな?と思うまえに .....	124~129
誤動作防止 .....	55, 125
コントラスト .....	117

## サ行

再生 .....	60, 62~64, 68, 86~88, 95~97, 111, 125, 126
再生経過時間 .....	62, 87, 96
再生設定メニュー .....	112
再生総時間 .....	62, 87, 96
再生モード .....	60, 62, 111
時間設定メニュー .....	118
システム設定メニュー .....	116
ジャンル .....	40, 60
充電 .....	51~53, 124
充電時間 .....	51, 53
充電池 .....	7, 51, 53, 122~124
充電表示 .....	52
仕様 .....	130
消去 .....	44, 98~104, 115, 116, 128

初期設定値 .....	110
ステレオ/モノラルモード .....	114
スリープ .....	85, 94, 116
製品情報 .....	118
専用USB接続ケーブル .....	10, 20, 24, 52, 121, 127
操作音 .....	56, 116

## タ行

タイマー録音 .....	105~109, 114
著作権 .....	9~11, 16, 28, 36
低音 .....	67, 112
停止 .....	63, 85, 88, 94, 97
電源 .....	54, 55, 109
電池残量 .....	53
動作環境 .....	15
動作モード .....	54
登録商標 .....	9
時計表示 .....	119
時計表示設定 .....	118

## ナ行

内蔵HDD .....	11, 26, 94, 103, 116, 128, 130
日時 .....	56

## ハ行

パソコンから取り外す .....	22, 43, 48
パソコンに接続 .....	20, 21, 40, 46, 52, 127, 128
バックアップ .....	9, 47
バックライト .....	117
早送り・早戻し .....	63, 88, 97
ピープ音 .....	56
ビットレート .....	62, 87, 96, 130
表示パネル .....	13, 14, 54
ファイル送り・戻し .....	64, 88, 97
ファイル消去 .....	98, 115
ファイル選択 .....	111
ファイル操作メニュー .....	115

ファイル番号 .....	62, 87, 96, 100
ファイル名 .....	49, 50, 61~63, 81, 84, 87, 94, 96, 99
フォーマット .....	50, 103, 116, 128
フォルダ .....	26, 49, 50, 60, 81, 89, 105, 115
フォルダ消去 .....	100, 115
フォルダ名 .....	87, 96
フォルダを選択 .....	83, 92
付属品 .....	10
プリセットソート .....	78, 115
プレイリスト .....	33, 34, 48, 60, 111, 126
ホールド .....	55, 125
保証書 .....	131, 140

## マ行

マニュアルプリセット .....	77
無音分割 .....	90, 114
無料修理規定 .....	137
メニューリセット .....	117

## ラ行

ランダム再生 .....	68
ランダム設定 .....	68, 112
リサイクル .....	8, 122, 123
リセット .....	13, 124, 129
リチウムイオン充電電池 .....	7, 8, 122
リピート再生 .....	68
リピート設定 .....	68, 112
レジューム .....	54, 55
録音 .....	12, 81, 84, 85, 89, 93, 94, 105, 107~109, 128
録音音質 .....	81, 89, 92, 114
録音可能時間 .....	81, 89
録音経過時間 .....	84, 85, 94
録音先選択 .....	83, 92, 113
録音残時間 .....	84, 94
録音設定メニュー .....	113

# 製品保証書

持込修理

お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書137ページ記載内容で無料修理をおこなうことを約束するものです。詳細は137ページをご参照ください。

品 名	デジタルミュージックプレーヤー		
品 番	HDP-M3000		
保証期間	お買い上げ日から 本体1ヵ年		
※お買い上げ日	年	月	日
お客さま	ご住所		
	お名前 様		
	電 話 ( ) —		
※販売店	電 話 ( ) —		

ご販売店さまへ ※印欄は必ず記入してお渡してください。

製造元 三洋電機株式会社

三洋テクノ・サウンド株式会社

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号

電話 大東(072)870-4186(直通)

HDP-M3000ユーザーサポートホームページアドレス

<http://www.sanyo-audio.com/support/>